

おおだしたぶんかきょうせいすいしんけいかく
大田市多文化共生推進計画

2020^{ねんど}年度～2022^{ねんど}年度
令和2^{れいわ}年度～令和4^{ねんど}年度



おおだし
大田市

令和2^{れいわ}（2020）^{ねん}年3^{がつ}月

たぶん かきょうせい
多文化共生とは…

こくせき みんなぞく こと ひとひと たが ぶんかてき みと あ
国籍や民族の異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、
たいとう かんけい きず ちいきしゃかい こうせいいん とも
対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に
い
生きていくこと。

へいせい ねん がつそうむしょう たぶん かきょうせい すいしん かか けんきゅうかいほうこくしょ
(平成18(2006)年3月総務省「多文化共生の推進に係る研究会報告書」より)



もくじ

だい しょう	さくてい	はいけい	しゅし	第1章	策定の背景等	1					
	1.	さくてい	はいけい	しゅし	策定の背景と趣旨						
	2.	けいかく	い	ち	計画の位置づけ						
	3.	けいかく	き	かん	計画の期間						
だい しょう	おお	だし	げんじょう	やくわりぶんたん	第2章	大田市の現状と役割分担	2				
	1.	おお	だし	げんじょう	大田市の現状						
	2.	やくわりぶんたん			役割分担						
だい しょう	けいかく	ないよう		第3章	計画の内容	6					
	1.	けいかく	きほんてき	かんが	かた	計画の基本的な考え方					
	2.	けいかく	たいけい	す		計画の体系図					
	3.	げんじょう	かだい	ぐたいてき	と	く	現状と課題、具体的な取り組み				
しりょう											
資料											
	○	おお	だし	ざいじゅうがいこくじんじゅうみん	あ	ん	けー	と	ちょうさけっか	大田市の在住外国人住民アンケート調査結果	25
	○	さくていいんかい	ようこう	めいぼ						策定委員会（要綱・名簿）	51
	○	けいかくさくてい	けいか							計画策定の経過	54
	○	ようごかいせつ								用語解説	55

第1章 策定の背景等

1. 策定の背景と趣旨

国においては、在留外国人が増える中、平成18（2006）年3月に、総務省が地方公共団体の多文化共生の取り組みを推進するため、「多文化共生推進プラン」を策定しました。その後、平成20（2008）年9月に起こったリーマン・ショックと呼ばれる世界的な経済危機以降の景気後退や東日本大震災の影響もあり、在留外国人は減少したものの、近年では、再び増加傾向にあり、在留外国人は、現在280万人を超えています。

本市においても、従来からの中国、フィリピン、韓国・朝鮮に加え、近年ではブラジル、ベトナムなどから様々な目的や理由によって外国人住民が増加しており、令和2（2020）年1月1日現在では373人が在住しています。さらに、平成30（2018）年12月に改正入管法が成立し、新たな外国人労働者受け入れのための在留資格「特定技能」が創設されたことから、今後、増えることが推測されます。

このため、本市では、これまで姉妹都市韓国大田廣域市との青少年交流を中心に国際交流を行ってきましたが、外国人住民には、日本の文化や生活スタイルを理解してもらい一方で、地域で暮らしやすい環境を整えるなど、国籍や文化の違いにかかわらず、安心して生活ができるまちづくりを目指していくことが必要になってきました。

こうしたことから、多文化共生を進めるうえでの課題を整理するとともに、外国人住民、日本人住民が多様な価値観を認め合い、お互いの理解と尊重のもとに日本人住民や外国人住民、企業、関係機関・団体と行政が協働して多文化共生社会の実現に向けて総合的に推進していくため、指針となる計画を策定しました。

2. 計画の位置づけ

『第2次大田市総合計画』に掲げた、「心豊かに誇りをもって共に暮らせる社会の実現」を推進するための分野別計画として策定しています。

3. 計画の期間

令和2（2020）年度から令和4（2022）年度までの3年間とします。

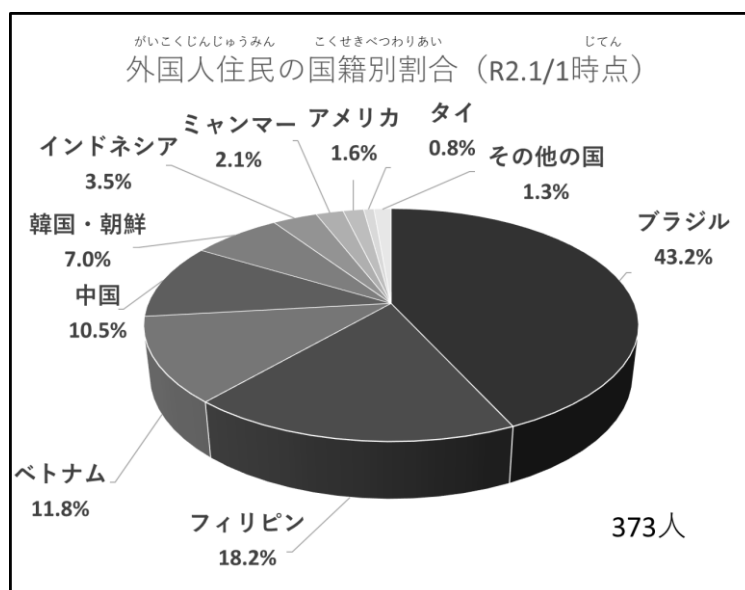
第2章 大田市の現状と役割分担

1. 大田市の現状

本市に居住する外国人の数は、地域経済の状況を反映して年々増加する傾向にあり、令和2（2020）年1月1日時点では373人で、本市の人口（34,349人）に占める割合は1.09%になっています。

国籍別にみると、もっとも多いのはブラジル国籍（161人）で、市内外国人住民の43.2%を占めています。

次いでフィリピン国籍（68人）で、市内外国人住民の18.2%を占めています。以下、ベトナム国籍（44人）、中国国籍（39人）、韓国・朝鮮国籍（26人）となっています。



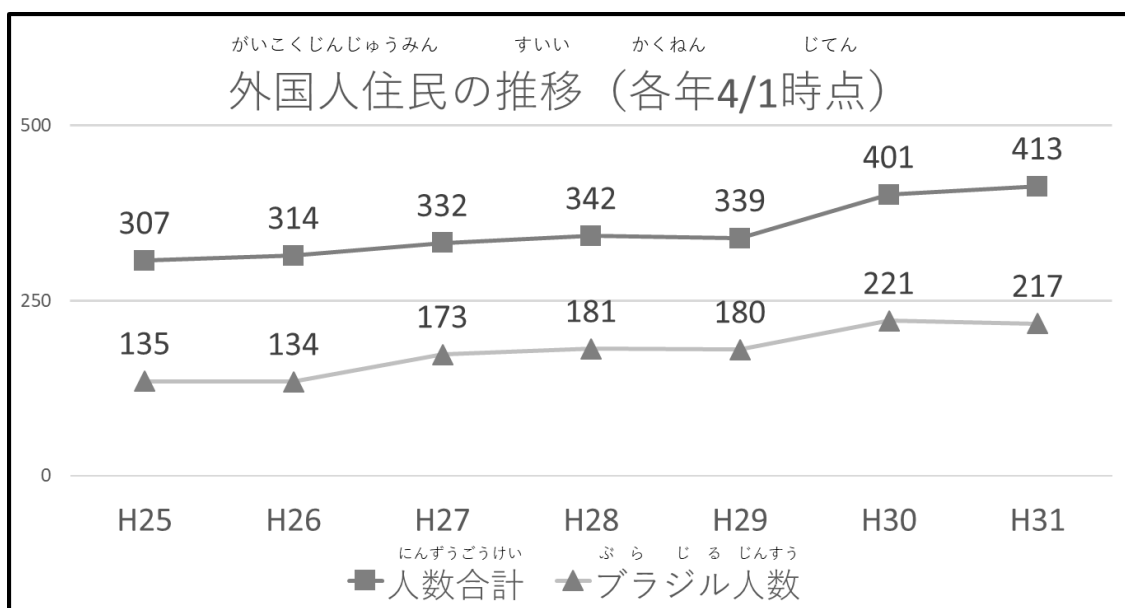
国籍	人	割合
ブラジル	161	43.2%
フィリピン	68	18.2%
ベトナム	44	11.8%
中国	39	10.5%
韓国・朝鮮	26	7.0%
インドネシア	13	3.5%
ミャンマー	8	2.1%
アメリカ	6	1.6%
タイ	3	0.8%
その他の国	5	1.3%
計	373	100.0%

町別にみると、もっとも多いのは大田町(108人)、次に長久町(88人)、続いて久手町(72人)となっています。

各ブロック別の数は以下のとおりです。

(令和2年1月1日)

ブロック (所管のまちづくりセンター)	外国人住民の数
中央ブロック (大田、川合、久利、大屋)	124
東部ブロック (朝山、富山、波根、久手)	86
西部ブロック (鳥井、長久、静間、五十猛)	94
三瓶ブロック (池田、志学、北三瓶)	1
高山ブロック (大森、水上、祖式、大代)	12
温泉津ブロック (温泉津、湯里、福波、井田)	20
仁摩ブロック (仁方、宅野、大国、馬路)	36
合 計	373



本市に居住する外国人住民の在留資格の特徴として、就労活動の制限がない在留資格が約64.9%を占めています。

(令和2年1月1日)

在留資格	男 (人)	女 (人)	計 (人)	割合	在留年数	
教育	2	4	6	1.6%	5年、3年、1年 または3月	
企業内転勤	0	1	1	0.3%		
技術・人文知識・国際業務	4	4	8	2.1%		
技能	1	1	2	0.5%		
技能実習1号イ	0	4	4	1.1%	法務大臣が個々に指定 する期間 (1年、2年を 超えない範囲)	技能実習生
技能実習1号ロ	27	12	39	10.5%		
技能実習2号イ	4	4	8	2.1%		
技能実習2号ロ	19	27	46	12.3%		
技能実習3号イ	0	1	1	0.3%		
技能実習3号ロ	2	11	13	3.5%		
家族滞在	2	0	2	0.5%	3月～5年	
特定活動	1	0	1	0.3%	3月～5年	
特別永住者	13	10	23	6.2%	無制限	就労活動の制限がない
日本人の配偶者等	15	13	28	7.5%	5年、3年、1年又は6月	
定住者	58	45	103	27.6%	5年、3年、1年、6月又は 法務大臣が個々に指定 する期間	
永住者	29	59	88	23.6%	無制限	
計	177	196	373			

※詳しい在留資格・在留年数については、出入国在留管理庁のホームページをご覧ください。

2. やくわりぶんたん 役割分担

1. じゅうみん にほんじんじゅうみん がいこくじんじゅうみん 住民（日本人住民・外国人住民）

にほんじんじゅうみん がいこくじんじゅうみん たが ちが たようせい にんしき そんなちよう ひつよう
日本人住民と外国人住民は、お互いの違いや多様性を認識・尊重する必要があります。
また、こうりゆう ことにより そうご りかい きょうどう たぶん かきようせい ちいき
交流することにより相互に理解しあい、協働して多文化共生の地域づ
くりをすすめることが期待されます。

がいこくじんじゅうみん にほん ぶんか かんしゅう りかい にほんじんじゅうみん
外国人住民は、日本の文化や慣習を理解していくことや、日本人住民と
こみゆにけーしょんをとるうえではある程度の日本語習得が必要であると認識するこ
とがたいせつです。

にほんじんじゅうみん がいこくじんじゅうみん とも く しみん いしき も じんけん そんなちよう
日本人住民は、外国人住民と共に暮らす市民であるという意識を持ち、人権を尊重
し、ちが ゆた たぶん かきようせいしやかい きず じゅうよう
し、違いを豊かさにとらえて、多文化共生社会を築くことが重要です。

2. みんかんだんたい きぎょうとう 民間団体・企業等

みんかんだんたい こくさいこうりゆう こくさいりかい かん じぎょう がいこくじんじゅうみん しえん
民間団体などは、国際交流や国際理解に関する事業、外国人住民への支援における
じゅうなん と く じゅうみん ぎょうせい ばいぶやく やくわり きたい
柔軟な取り組みや住民や行政とのパイプ役としての役割が期待されます。

きぎょう ろうどうかんけいほうれい じゅんしゅ がいこくじんじゅうぎょういん にほんごがくしゅうしえん たぶんか
企業などは、労働関係法令の遵守のほか、外国人従業員の日本語学習支援、多文化
きょうせい かん りかい しえん きょうりよく きたい
共生に関する理解への支援・協力が期待されます。

3. ぎょうせい 行政

し がいこくじんじゅうみん きょうせい ぎょうせいサービス こうじょう こくさいきょういく すいしん つと
市は、外国人住民と共生するために行政サービスの向上や国際教育の推進に努
めるとともに、ちいき じつじょう ふ じゅうみん みんかんだんたい きぎょうとう きょうどう れんけい
地域の実情を踏まえながら住民、民間団体・企業等との協働や連携
により、たぶんかきょうせい ちいき すいしん
多文化共生の地域づくりを推進します。

第3章 計画の内容と具体的な取り組み

1. 計画の基本的な考え方

基本理念

“ちがいをゆたかさに”

心豊かに誇りをもって共に暮らせる多文化共生のまちづくり

本市は、『“ちがいをゆたかさに”心豊かに誇りをもって共に暮らせる多文化共生のまちづくり』を基本理念にして、多文化共生の実現に向けた環境を整えていきます。

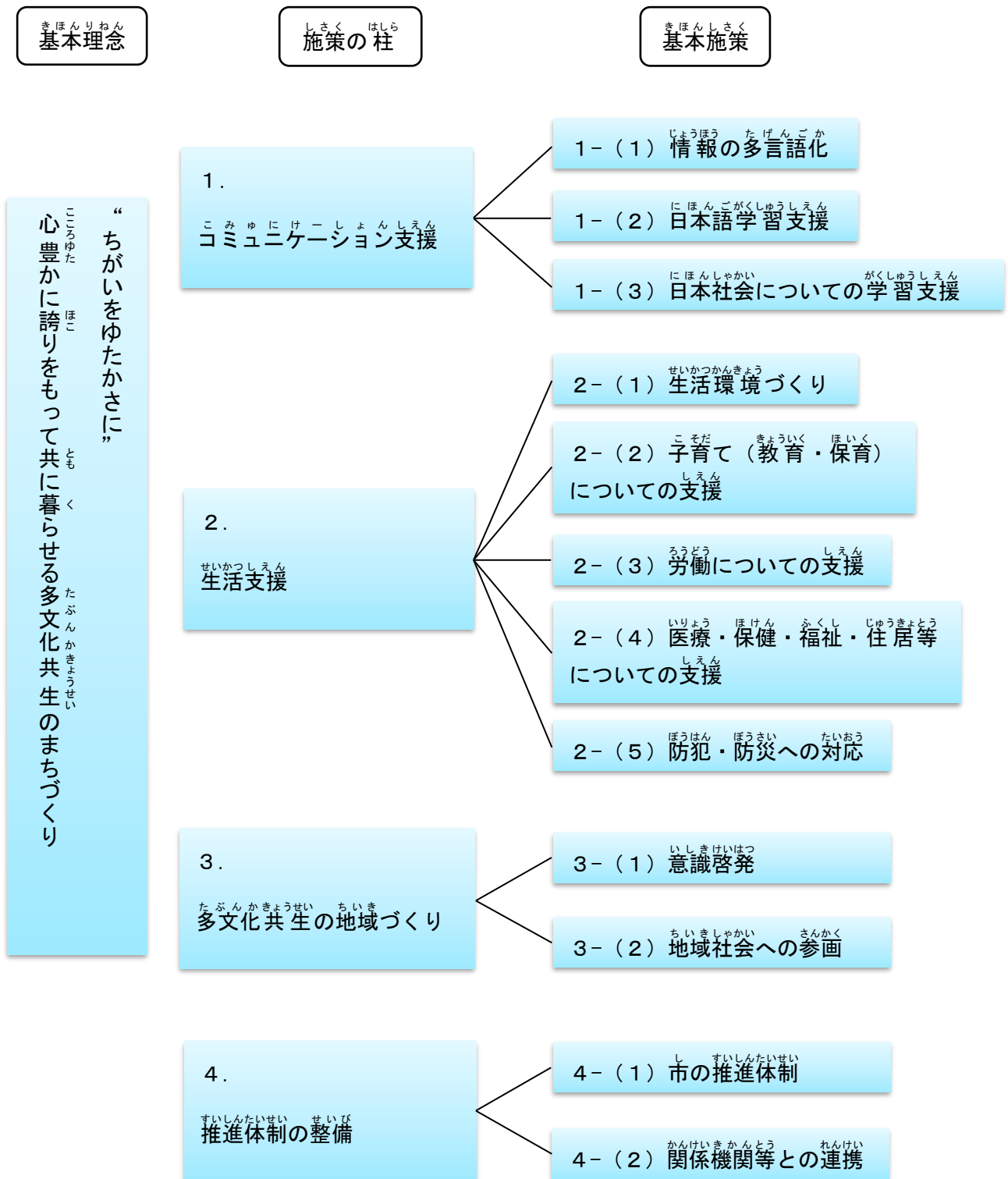
近年、市内企業において外国人の従業員・技能実習生の受け入れが進み、市内に居住する外国人の数は年々増えていますが、行政機関への諸手続きや地域住民との関わりなど日常生活全般にわたって、文化・慣習・言葉の違いに向き合っています。

また、地震や風水害などの災害時においても、情報発信など課題が表れてきました。

居住する外国人の基本的な人権が尊重され自立した一市民として、地域で安心して日常生活を送れるよう、市内外の関係機関と協力し、多文化共生の実現に向けた環境を整えることがこの計画の大切な目的となります。

なお、この計画は、世界遺産を有する本市として、ユネスコの精神「平和と人権尊重」を根底に据え、「大田市人権尊重のまちづくり条例」を踏まえて進めていきます。そして、「第2次大田市総合計画」の本市の将来像「子どもたちの笑顔があふれ、みんなが夢を抱けるまち“おおだ”」の実現に向けて、年齢、性別、職業、国籍などを問わず、様々な人が、一緒に楽しく夢を語り合いながらアイデアを創り、“おおだ”に関わるすべての人たちが一緒に汗をかきながら、ひとつずつ形にしていく「共創」によるまちづくりを進めます。

2. 計画の体系図



3. 現状と課題、具体的な取り組み

1. コミュニケーション支援

1- (1) 情報の多言語化

① 現状

- 市では国際交流員が窓口での通訳対応（英語、ポルトガル語）をしています。
- 市の窓口対応で翻訳機を使用しています。
- 市ではポルトガル語によるフェイスブックでの情報発信をしています。
- 市では外国人住民の暮らしに必要なごみの出し方などについて多言語による情報を提供しています。しかし、他の情報について多言語による情報提供が十分ではありません。
- 市からの案内通知など、多言語化されていないものがあります。
- 公共施設や各種案内看板などの表示において、日本語のみを表記しているものがあります。
- 外国人住民は、SNSによる方法が情報を得やすいと感じています。
- 外国人住民は、窓口での通訳や多言語での情報発信を望んでいます。

② 課題

- 多言語、多様な媒体による情報提供
- 案内文書や通知文書などの多言語化
- 公共施設の案内看板などの多言語化

③ 具体的な取り組み

取り組み内容	備考
窓口において、通訳または「やさしい日本語」での対応、翻訳機を活用した対応に取り組めます。（取り組み主体：市）	継続実施

とくなくないよう 取り組み内容	びこう 備考
・市や市立病院のホームページの多言語化を進めます。多様な媒体（SNSなど）による多言語での情報発信を行います。（取り組み主体：市）	いちぶじつしちゅう 一部実施中 ふえいすぶつく（ポルトガル語）
・行政情報の多言語化やふりがな、「やさしい日本語」の使用などにより、わかりやすい情報の提供を行います。（取り組み主体：市）	いちぶじつしちゅう 一部実施中 ごみの出し方・指定袋外袋 （英語・ポルトガル語）、市民課 申請書（英語・ポルトガル語）、 市立病院産婦外来問診票 （英語・ポルトガル語・ 中国語）、お産をされた方へ退院 のしおり・入院案内・申込書 （ポルトガル語）
・公共施設や観光案内看板などの多言語化を進めます。（取り組み主体：市、民間団体・企業等）	いちぶじつしちゅう 一部実施中
・ふりがなや「やさしい日本語」を使用した、「広報おおだ」による情報提供を行います。 （取り組み主体：市）	いちぶじつしちゅう たぶんかきょうせい かん 一部実施中（多文化共生に関する きじ 記事など）
・市の施設に翻訳機などの設置を進めます。 （取り組み主体：市）	いちぶじつしちゅう 一部実施中
・あいさつや簡単な質問など職員用の多言語対応マニュアルの作成に取り組みます。 （取り組み主体：市）	
・日本人住民、外国人住民を対象とした通訳・翻訳ボランティア登録制度をつくり、多言語対応を進めます。また、通訳・翻訳ボランティアを育成し、活用を増やします。（取り組み主体：市）	
・地図情報や公共交通の利用方法・路線情報、時刻表などの多言語表記を進めます。 （取り組み主体：市、企業等）	

1－（２）日本語学習支援

① 現状

- ・日本語教室の開催や運営は、ボランティア団体が担っています。
- ・日本語教室が、外国人住民の相談の受け皿という役割を求められることがあります。
- ・県が実施する日本語教室を周知していますが、十分に伝わっていません。
- ・外国人住民は、日本語を学ぶ機会の充実を望んでいます。

② 課題

- ・日本語の習得支援
- ・日本語ボランティアの養成

③ 具体的な取り組み

取り組み内容	備考
・日本語教室の会場を増やすなど、外国人住民のニーズに 대응します。（取り組み主体：市）	
・就職に必要な日本語や技術を身につけることを支援するよう取り組みます。（取り組み主体：市）	
・大田日本語サークルこだまや在住外国人共生市民の会と連携し、日本語教室や日本語ボランティアに関する講座やイベント情報を広く発信し、日本語ボランティアの担い手を増やします。（取り組み主体：市、民間団体）	

1－（3）にほんしゃかい日本社会がくしゅうしえんについての学 習 支 援

① げんじょう現 状

- ・がいこくじんじゅうみん外国人住 民がちいき地域で生活していく上うへで、にほんしゃかい日本社会のルールなどについてまな学 ぶきかい機会が
じゅうぶん十分ではありません。
- ・がいこくじんじゅうみん外国人住 民は、にほん日本の文化や生活習 慣せいかつしゅうかんを学 ぶまな機会きかいの充 実じゅうじつを望んでいす。

② かだい課 題

- ・にほん日本の文化、生活習 慣せいかつしゅうかんなどを学 ぶまな機会きかいの提 供ていきょう

③ ぐたいてき具体的な取 り 組 み

とく 取 り 組 み 内 容	びこう 備 考
がいこくじんじゅうみん 外国人住 民を対 象 たいしょう に、 にほんぶんか 日本文化や生活習 慣 せいかつしゅうかん の理解を深める きかい 機会をつくれます。 とく （取 り 組 み 主 体：市）	
がいこくじんじゅうみん 外国人住 民を雇用している企業 きぎょう などと連 携 れんけい して、生活情 報 せいかつじょうほう などのオリエンテーション おりえんてーしょん を行 い ます。 とく （取 り 組 み 主 体：市、企業等）	

2. 生活支援

2-（1）生活環境づくり

① 現状

- ・市には、日常生活で困りごとを抱えている外国人住民の相談体制が整っていません。
- ・救急車の呼び方、病院の場所など、日常生活をするために必要な情報が十分に伝わっていません。
- ・市だけで対応できない相談内容があります。

② 課題

- ・相談体制の整備と関係機関との連携
- ・日常生活するうえで必要な情報提供

③ 具体的な取り組み

取り組み内容	備考
・在住外国人共生市民の会と連携し、外国人住民が抱える問題の情報を共有し対応します。 (取り組み主体：市、民間団体)	一部実施中
・法務局、人権擁護委員などと連携し、外国人住民に対する人権侵害への適切な救済対応に取り組みます。 (取り組み主体：市、国)	一部実施中
・外国人住民が安心して日常生活を送ることができるよう、外国人住民相談窓口をつくります。(取り組み主体：市)	
・外国人住民相談窓口と各担当課および大田市社会福祉協議会、(公財)しまね国際センターなどと連携を図り、相談体制をつくります。(取り組み主体：市、県、民間団体)	
・特殊詐欺被害などの消費者トラブルを未然に防止するため、消費者相談の充実を図ります。(取り組み主体：市)	

とく ないよう 取り組み内容	びこう 備考
・ がいこくじんじゅうみん しな い しやうひそくしん いんしよくてん たげんご 外国人住民の市内での消費促進のため、飲食店での多言語 ひようじ か ものかんきやう しえん と く 表示など、買い物環境づくりの支援に取り組みます。 (とく ないよう し 取り組み主体：市)	
・ たげんご かんこう まつ ぶ いんしよくてん まつ ぶ さくせい すす 多言語での観光マップや飲食店マップの作成を進めます。 (とく ないよう し 取り組み主体：市、民間団体・企業等)	

2- (2) こそだ きやういく ほいく しえん 子育て（教育・保育）についての支援

① げんじやう 現状

- ・ し では、よくねん どにゆうがく み こ がいこくせき よう じ およ ほ ごしや じやうきやう はあく せつめいかい
市では、翌年度入学見込みの外国籍の幼児及び保護者の状況を把握し、説明会の
ほうほう くふう にほんご つか がいこくせき ほ ごしや たいおう
方法を工夫したり「やさしい日本語」を使うなど、外国籍の保護者に対応しています。
- ・ げんざい がいこくじんじゅうみん なか にほんごしどう ひつよう じどうせいと こま
現在、外国人住民の中に、日本語指導の必要がある児童生徒はいませんが、きめ細
かな指導を心がけています。
- ・ し はっこう ほごしやあて ぶんしよ たげんご か おお がい
市が発行する保護者宛の文書などにおいて、多言語化されていないものが多く、外
こくせき ほ ごしや じゅうぶん つた
国籍の保護者に十分に伝わらないことがあります。
- ・ がいこくじんじゅうみん なか こ がっこう しんがく なや ひと
外国人住民の中には、子どもの学校や進学のことなどで悩んでいる人がいます。

② かだい 課題

- ・ にゆうがく へんにゆう しゆうがくじどう せいとおよ ほ ごしや しえん
入学、編入などにおける就学児童、生徒及び保護者への支援
- ・ ぶんか ちが せいかつ なか こそだ きやういく かん そうだんたいせい じゅうじつ
文化が違う生活の中での子育て、教育に関する相談体制の充実
- ・ ほいくせいど たげんごはつしん
保育制度の多言語発信
- ・ にゆうようじ も かてい こそだ しえん
乳幼児を持つ家庭への子育て支援
- ・ がっこうきやういく こくさいきやういく すいしん
学校教育における国際教育の推進

③ ぐたいてき と く 具体的な取り組み

とく ないよう 取り組み内容	びこう 備考
・ 4、5 さいじ たいしやう じゆんかいほうもん ようじ じやうきやう 4、5歳児を対象にした巡回訪問による幼児の状況 はあく ひつよう おう ほごしやめんだん おこな 把握と、必要に応じた保護者面談を行います。 (とく ないよう し 取り組み主体：市)	けいぞくじっし 継続実施

とく ないよう 取り組み内容	びこう 備考
・多言語に対応した子育てアプリ「おおだっこ」による情報発信をします。(取り組み主体：市)	けいぞくじつし 継続実施 WEB版10か国語
・就学前に、外国人保護者へ学校教育について説明するなど、スムーズな入学を支援します。(取り組み主体：市)	いちぶじつしちゅう 一部実施中
・保護者説明会や就学、進学に関する相談会では、保育所入所のしおりや子育てガイドブックなどを多言語化するとともに、国際交流員などによる通訳を介した説明をします。(取り組み主体：市)	いちぶじつしちゅう 一部実施中 保育所入所の しおり・子育て ガイドブック (ポルトガル語)
・必要に応じて翻訳機を活用し、保護者へ円滑に情報提供します。(取り組み主体：市)	いちぶじつしちゅう 一部実施中
・保育園、学校職員へ意識啓発をします。(多言語・「やさしい日本語」での発信、日頃の声かけ、家庭訪問や個人懇談などでの配慮、保護者間のネットワークづくりなど) (取り組み主体：市)	いちぶじつしちゅう 一部実施中
・国際教育を進めるための職員研修を行います。 (取り組み主体：市)	いちぶじつしちゅう 一部実施中
・外国人の保護者が抱える不安などを解消するため、外国人保護者会などの体制をつくりまします。 (取り組み主体：市、住民)	
・母国の文化や言葉について学ぶ機会をつくりまします。 (取り組み主体：市)	
・他機関と連携し、必要に応じて日本語指導講師を派遣するなど、外国人児童生徒への日本語学習支援に取り組みまします。 (取り組み主体：市、県、民間団体)	
・日本語学習が必要な高校生や若者への支援に取り組みまします。(取り組み主体：市)	

2- (3) 労働についての支援

① 現状

- 外国人住民の中には、言葉の問題や情報不足から就業が難しい人がいます。
- 就職について相談支援を必要としている外国人住民がいます。

② 課題

- 相談支援体制の整備
- ハローワークなどとの連携

③ 具体的な取り組み

取り組み内容	備考
ハローワークと共催して「公正採用選考推進セミナー」を開催し、差別のない公正な採用選考を実施するため人権尊重を視点にした研修会を行います。(取り組み主体：市、国)	継続実施
ハローワークなどと連携した外国人住民への就労支援に取り組めます。(情報の多言語化や通訳の派遣、相談体制の整備など)(取り組み主体：市、国)	
市内商工団体などと連携して、外国人住民の雇用に関する企業への意識啓発などに取り組めます。(取り組み主体：市、民間団体)	
外国人住民を雇用している企業と連携して、日本語学習の支援を行います。(取り組み主体：市、企業等)	
外国人住民を雇用している企業の理解を深めるための人権研修などを関係機関と連携して進めます。(取り組み主体：市、民間団体)	

2－（４）医療・保健・福祉・住居等についての支援

① 現状

- ・市では、多言語の母子手帳を配布しています。
- ・市立病院では翻訳ソフトが入ったタブレットを使用し、通訳や翻訳の対応をしています。
- ・市の医療、保健、福祉などの制度に関する基本的な情報の周知が十分ではありません。
- ・日本語の能力が十分でない外国人住民は、医療機関でのコミュニケーションが困難な場合があります。

② 課題

- ・医療、保健、福祉制度などの仕組みや必要性などの周知
- ・医療機関などでの通訳支援

③ 具体的な取り組み

取り組み内容	備考
・翻訳機の活用や国際交流員による支援などにより、窓口などでの外国人住民からの問い合わせに対応できるよう取り組みます。（取り組み主体：市）	継続実施
・各種医療・保健などの制度に関する情報を多言語で案内します。（取り組み主体：市）	一部実施中 母子手帳（英語・ポルトガル語・中国語・タガログ語・ベトナム語・韓国語）、 予防接種説明・記録・ 乳幼児健診問診票 （英語・ポルトガル語・中国語・タガログ語・韓国語）

とく ないよう 取り組み内容	びこう 備考
・市内の医療機関の診療情報（診療科、診療時間など）について、多言語で情報提供します。 （取り組み主体：市、民間団体）	いちぶじつしちゅう 一部実施中
・県や他市町村、関係機関との連携により、医療通訳ボランティアの周知・活用と、確保・育成を行います。 （取り組み主体：市、県、他市町村、民間団体・企業等）	いちぶじつしちゅう 一部実施中
・通訳や翻訳の対応ができる医療機関の情報を提供します。 （取り組み主体：市）	
・福祉制度に関する情報を多言語で発信します。社会福祉協議会の役割について周知します。 （取り組み主体：市、民間団体）	
・税の制度について、わかりやすい周知や説明をします。 （取り組み主体：市）	
・市営住宅の入居情報の多言語化を図ります。外国人住民がアパートなどに入居する際の課題や問題点を調べ、解決に向けた対策を考えます。 （取り組み主体：市、民間団体・企業等）	

2－（５）防犯・防災への対応

① 現状

- ・日本語が話せない外国人住民は、火災、救急通報が難しいことがあります。
- ・外国人住民への防犯や交通安全情報の周知が十分ではありません。
- ・市は、外国人を対象とした防災訓練を実施しています。
- ・市は、一部地域のハザードマップをポルトガル語へ翻訳しています。
- ・災害が少ない国から来日した外国人住民は、防災や災害についての知識や認識が不足していることがあります。
- ・外国人住民への災害時の情報の周知が十分ではありません。

② 課題

- ・防犯や交通安全に関する多言語による情報提供
- ・消防、救急など緊急情報の受信体制の整備
- ・外国人住民にもわかりやすい、ハザードマップによる危険箇所や指定避難所などの周知
- ・災害時における重要な情報の多言語での発信
- ・外国人住民を対象とした防災訓練の充実

③ 具体的な取り組み

取り組み内容	備考
・災害時に外国人住民をサポートするボランティアを育成するための研修を実施し、災害時外国人サポーターを確保します。（取り組み主体：市、県）	継続実施
・ハザードマップ、防災パンフレット、避難所などの各種看板などを多言語化します。（取り組み主体：市）	一部実施中

とくなくないよう 取り組み内容	びこう 備考
がいこくじんじゅうみん さんか ぼうさいけんしゅう にほんじんじゅうみん ・外国人住民も参加しやすい防災研修や日本人住民、 がいこくじんじゅうみん いっしょ さんか ぼうさいくんれん おこな 外国人住民と一緒に参加できる防災訓練を行います。 (取り組み主体：市)	いちぶじしちゅう 一部実施中
ばんつうわそうち たげん ごたいおう がいこくじんきゅうきゅうはんそう ・119番通話装置での多言語対応、外国人救急搬送 シートや救急隊員が持つスマートフォンへの翻訳 アプリの配備、緊急通話同時三者通訳システムの導入 など、緊急時における体制を充実します。 (取り組み主体：市)	いちぶじしちゅう 一部実施中 ばんつうわそうち せいご 119番通話装置（英語・ ポルトガル語・中国語・ タガログ語・韓国語）、 救急搬送シート（18か 国語で再生）
けいさつ かんけいきかん れんけい ぼうはん こうつうあんぜん かん ・警察などの関係機関と連携して、防犯や交通安全に関する 多言語による冊子やチラシ、ホームページなどでの 情報提供を行います。 (取り組み主体：市、県、民間団体)	
きゅうきゅうしゃ よ かさい さい おおごえ だ まわ ・救急車の呼びかたや、火災の際には大声を出して周り に知らせ消防署に連絡することなど、緊急時にとるべ き行動を周知します。(取り組み主体：市)	
たげんご ぼうさい さいがいじょうほう ていきょう ・多言語による防災・災害情報を提供します。 (取り組み主体：市)	
たよう ばいたい かつよう さいがいじ ひなんじょう ・多様な媒体（SNSなど）を活用し、災害時の避難所等 の情報を伝えるしくみを整えます。(取り組み主体：市)	
ひなんじょ ぶんか しゅうきょう ちが ひつよう ・避難所において、文化や宗教の違いにより必要となる 食材などへの配慮や対応を行います。 (取り組み主体：市)	
がいこくじんじゅうみん じちかい かにゅう そくしん さいがいじ ひなん ・外国人住民の自治会への加入を促進し、災害時に避難 情報などが共有できる体制の充実を進めます。 (取り組み主体：市、住民)	

3. 多文化共生の地域づくり

3-（1）意識啓発

① 現状

- ・多文化共生の地域づくりを推進していく上で、日本人住民も外国人住民との共生意識をもつことが大切です。
- ・多文化共生を推進するためには、外国の文化や習慣などを知り、国際理解を深めることが必要ですが、十分ではありません。

② 課題

- ・多文化共生への理解を深め、差別と人権侵害のない多文化共生の地域づくり
- ・多文化共生意識を高めるための学習機会や研修の実施

③ 具体的な取り組み

取り組み内容	備考
・「人権を考える市民のつどい」での講演会や各地域で開催される研修会などで、人権尊重の視点から多文化共生について正しい理解と認識を深めます。 (取り組み主体：市)	継続実施
・広報紙などで多文化共生に関する記事や外国の文化などを紹介します。(取り組み主体：市)	継続実施
・学校や地域で、多文化共生の意義の周知や外国人住民から話を聞くなど、多文化共生のための講座を行います。 (取り組み主体：市)	継続実施
・ヘイトスピーチ解消法に基づき、不当な差別的言動は許されないことを市民に周知し解消に取り組みます。 (取り組み主体：市)	

3－（２）^{ち い き し ゃ か い} ^{さん か く}地域社会への参画

① ^{げんじょう}現状

- ・^{がいこくじんじゅうみん}外国人住 民は、^{ち い き}地域での^{せいかつじょうほう}生活情 報を得る^{え き か い}機会が^{じゅうぶん}十分ではありません。
- ・^{がいこくじんじゅうみん}外国人住 民は、^{ことば もんだい}言葉の問題などにより、^{ち い き}地域や^{きんりんじゅうみん}近隣住 民との^{こうりゅう}交 流が^{じゅうぶん}十分ではありません。
- ・^{がいこくじんじゅうみん}外国人住 民が^{こうりゅうかつどう}交 流活動などに^{さん か}参加しにくい理由として、^{じょうほう}情 報が^{すく やす}少ない、^あ休みが^{いどうしゅだん}合わない、^{すく}移動手段が少ないなどがあります。

② ^{かだい}課題

- ・^{がいこくじんじゅうみん}外国人住 民が^{ち い き かつ どう}地域活動に参加しやすい^{し く}仕組みづくり

③ ^{ぐたいてき と く}具体的な取り組み

^{と く ないよう} 取り組み内容	^{びこう} 備考
・ ^{まちづくり} センター、 ^{せいん た ー} 公民館などにおいて、 ^{ち い き} 地域に ^{ざいじゅう} 在 住している ^{がいこくじんじゅうみん} 外国人住 民との ^{こうりゅう} 交 流が ^{はか} 図れるよう、 ^{た ぶん か} 多文化 ^{きょうせい} 共生の ^{と く} 取り組みを進めます。（ ^{と く しゅたい} 取り組み主体：市）	^{けいぞくじっし} 継続実施
・ ^{ち い き} 地域で ^{かつやく} 活躍する ^{がいこくじんじゅうみん} 外国人住 民を ^{こうほうし} 広報紙や ^{ほ ー む ペ ー ジ} ホームページなどで ^{しょうかい} 紹介していきます。（ ^{と く しゅたい} 取り組み主体：市）	^{けいぞくじっし} 継続実施
・ ^{た げ ん ご} 多言語による ^{かにゅうあんない} 加入案内を作成するなど ^{じち かい かつ どう} 自治会活動を ^{しゅうち} わかりやすく ^{かにゅう} 周知し、 ^よ 加入の ^{すす} 呼びかけを進めます。 （ ^{と く しゅたい} 取り組み主体：市、 ^し 住 民）	
・ ^{ち い き} 地域の ^{だんたい} 団体と ^{れんけい} 連携し、 ^{がいこくじんじゅうみん} 外国人住 民が ^{ち い き} 地域のお祭りや ^{まつ} 防災 ^{ぼうさい} 訓練などの ^{ぎょうじ} 行事や ^{す ぽ ー つ} スポーツ・ ^{ぶん か かつ どう} 文化活動に ^{さん か} 参加しやすい ^{たいせい} 体制 ^{と く} づくりに ^{しゅたい} 取り組みます。 （ ^{と く しゅたい} 取り組み主体：市、 ^{みんかんだんたい} 民間団体、 ^{じゅうみん} 住 民）	

とく ないよう 取り組み内容	びこう 備考
がいこくじんじゅうみん にほんじんじゅうみん ばいぶ やく じんざい はつくつ ・外国人住 民と日本人住 民のパイプ役となる人材を発掘し、 こべつ こえ じょうきょうはあく とく 個別の声かけや状 況把握ができるよう取り組みます。 とく しゅたい し (取り組み主体：市)	
ぎょうせい し みん だん たい きょうどう こくさい ふ え す て い ば る ・行 政、市民団体などが協働で国際フェスティバルなどの こうりゅうじぎょう おこな とく しゅたい し みんかんだんたい 交 流事業を行います。(取り組み主体：市、民間団体)	
がいこくじんじゅうみんどうし ね っ と わ ー く しえん ・外国人住 民同士のネットワークづくりを支援します。 とく しゅたい し (取り組み主体：市)	

4. 推進体制の整備

4-（1）市の推進体制

① 現状

- ・市では、国際交流員（ブラジル出身）を配置しています。
- ・市の各部署が抱えている課題について、横断的に連携して取り組む仕組みができていません。
- ・市職員の多文化共生への理解をもっと深める必要があります。

② 課題

- ・多文化共生の連絡調整を行うための仕組みづくり
- ・職員への多文化共生に関する研修

③ 具体的な取り組み

取り組み内容	備考
・国際交流員を配置し、多文化共生の推進に取り組みます。（取り組み主体：市）	継続実施
・市職員への多文化共生に関する意識を高めるため、「やさしい日本語」などの職員研修会を行います。（取り組み主体：市）	継続実施
・多文化共生の推進に取り組むため、庁内関係課連絡会議を設置し、市の内部で横断的に連携します。（取り組み主体：市）	
・外国人住民と触れ合う機会を設け、市職員が参加することで多文化共生への理解を深めます。（取り組み主体：市）	

4－（２）^{かんけいきかんとう れんけい}関係機関等との連携

① ^{げんじょう}現状

- ・^{がいこくじんじゅうみん}外国人住^{かくしゅだんたい}民や各種団体などと^し市の^{たぶん}多文化共^{かきょうせい}生の^あ在り方や^{かた}課題を^{かだい}話し合^{はな}う場^あが^ぼ求められています。

② ^{かだい}課題

- ・^{がいこくじんじゅうみん}外国人住^{かくしゅだんたい}民や各種団体などと^{たぶん}多文化共^{かきょうせい}生の^あ在り方を^{かた}話し合^{はな}う^あ機会^{きかい}の^{じゅうじつ}充実

③ ^{ぐたいてき}具体的な^{とく}取り組み

^{とく} 取り組み ^{ないよう} 内容	^{びこう} 備考
・^{がいぶ}外部の^{いいん}委員で^{こうせい}構成される^{たぶん}多文化共^{かきょうせい}生の^{すいしん}推^{かいぎ}進する^{かいぎ}会議を^{せっち}設置し、^{ちやくじつ}着^{すす}実に^{とく}進^{しゅたい}めます。^し（取り組み主体：市）	
・^{がいこくじんじゅうみん}外国人住^{してん}民の^{はっそう}視点や^と発^い想を取り入れる^{きかい}機会を^{かくほ}確保するた^めめ、^{がいこくじんじゅうみん}外国人住^{いけん}民との^{こうかんかい}意見交^{おこな}換会を行^{います}います。 （取り組み主体：市）	
・^{かくしゅかいぎ}各種会議などへ^{がいこくじんじゅうみん}外国人住^{さんか}民の^{すす}参加を進めます。 （取り組み主体：市）	
・^{きぎょう}企業、^{こくさいこうりゅうだんたい}国際交^{じょうほうきょうゆう}流団^{かいぎ}体などが^{おこな}情^{とく}報^{しゅたい}共^し有するた^めめの^{かいぎ}会議を^{おこな}行^{います}います。（取り組み主体：市）	
・^{しな}市内^{いしょうこうだんたい}商工団^{ぎのうじっしゅうせい}体や^う技能実^い習生^{きぎょう}受^{れんけい}け入れ^{れんけい}企業との^{れんけい}連^{れんけい}携、^{じょうほうこうかん}情^{すす}報交^{すす}換を進めます。 （取り組み主体：市、民間団体・企業等）	
・^{こうざい}（公財）^{こくさいせんたー}しまね国際セ^{れんけい}ンターと^{がいこくじんじゅうみん}連^{れんけい}携した^{がいこくじんじゅうみん}外国人住^{にほんごがくしゅうしえん}民のた^{そうだんかい}め^{じぎょう}の^{おこな}日^{おこな}本語学^{おこな}習^{おこな}支^{おこな}援や^{おこな}相^{おこな}談会などの^{おこな}事業^{おこな}を行^{います}います。 （取り組み主体：市、県）	
・^{くに}国や^{けん}県、^た他^{しちょうそん}市町^{れんけい}村と^{じょうほうこうかん}連^{たぶん}携し、^{たぶん}情^{たぶん}報交^{たぶん}換しな^{たぶん}がら^{たぶん}多^{たぶん}文化^{たぶん}共^{たぶん}生^{たぶん}を^{たぶん}進^{たぶん}め^{たぶん}ま^{たぶん}す。^{とく}（取り組み主体：市、国、県、他市町村）	

○大田市在住外国人住民アンケート調査結果

市内の外国人住民が感じる課題や、行政に求めるサービスの内容、ニーズなどを調査するために、アンケート調査を実施した。

(1) 調査の目的

外国人住民が感じる課題や行政に求めるサービスの内容、ニーズなどを把握し、多文化共生推進計画に反映させるため

(2) 調査対象者

市内在住の20歳以上の外国人住民のうち、島根県の調査対象者として無作為に抽出した90人を令和元年5月に、その90人を除いた293人を大田市の調査対象者として同年8月実施

(3) 調査項目

- 1) 回答者自身のことについて
- 2) 日本人との交流について
- 3) 日本語能力について（どのくらいできるか、勉強したいか）
- 4) 子どものことについて（子どもの有無、教育での心配なこと）
- 5) 日常生活について（相談先、困っていること、医療、差別等を受けた経験）
- 6) 防災について（災害の経験、避難場所、備え）
- 7) 行政からの情報について
（よく利用するツール、必要な情報、望む行政サービス）

(4) 回収結果

・有効回答数 76件（回収率 19.8%）

	回収人数	送付人数
大田市調査	49	293
島根県調査	27	90
計	76	383

(5) アンケート調査結果

(県の調査結果は、市と重複した調査項目のみ集計)

1) 回答者の構成

• 性別

	かいとうすう 回答数	ひ りつ 比率
おとこ 男	24	31.6%
おんな 女	51	67.1%
むかいとう 無回答	1	1.3%
ごうけい 合計	76	100.0%

• 国籍

	かいとうすう 回答数	ひ りつ 比率
ぶ ら じ る ブラジル	34	44.7%
ふ い り び ん フィリピン	13	17.1%
ちゅうごく 中国	11	14.5%
かんこく ちょうせん 韓国、朝鮮	7	9.2%
べ と な む ベトナム	4	5.3%
その他	5	6.6%
むかいとう 無回答	2	2.6%
ごうけい 合計	76	100.0%

※その他内訳：アメリカ1、タイ1、イギリス1、
ニュージーランド1、ルーマニア1

• 国籍別、年齢別

上段：人
下段：%

ねんれい 年齢 こくせき 国籍	20～29才	30～39才	40～49才	50～59才	60～69才	70才以上	ごうけい 合計
ぶ ら じ る ブラジル	9 11.8%	14 18.4%	10 13.2%	1 1.3%			34 44.7%
ふ い り び ん フィリピン	3 3.9%	6 7.9%	3 3.9%	1 1.3%			13 17.1%
ちゅうごく 中国	2 2.6%	4 5.3%	5 6.6%				11 14.5%
かんこく ちょうせん 韓国、朝鮮				1 1.3%	2 2.6%	4 5.3%	7 9.2%
べ と な む ベトナム	1 1.3%	3 3.9%					4 5.3%
その他	1 1.3%	1 1.3%	2 2.6%	1 1.3%			5 6.6%
むかいとう 無回答	1 1.3%		1 1.3%				2 2.6%
ごうけい 合計	17 22.4%	28 36.8%	21 27.6%	4 5.3%	2 2.6%	4 5.3%	76 100.0%

・大田市の暮らしに満足していますか（１つに○）

国籍	1か月～5か月	6か月～11か月	1年～2年	3年～5年	6年～9年	10年～14年	15年以上	合計
ブラジル	1 1.3%	6 7.9%	14 18.4%	4 5.3%	8 10.5%		1 1.3%	34 44.7%
フィリピン	2 2.6%		3 3.9%			2 2.6%	6 7.9%	13 17.1%
中国		1 1.3%	4 5.3%	1 1.3%	1 1.3%	1 1.3%	3 3.9%	11 14.5%
韓国、朝鮮							7 9.2%	7 9.2%
ベトナム	2 2.6%	1 1.3%	1 1.3%					4 5.3%
その他			2 2.6%	1 1.3%		1 1.3%	1 1.3%	5 6.6%
無回答			1 1.3%	1 1.3%				2 2.6%
合計	5 6.6%	8 10.5%	25 32.9%	7 9.2%	9 11.8%	4 5.3%	18 23.7%	76 100.0%

・これからどのくらい大田市に住む予定ですか（１つに○）

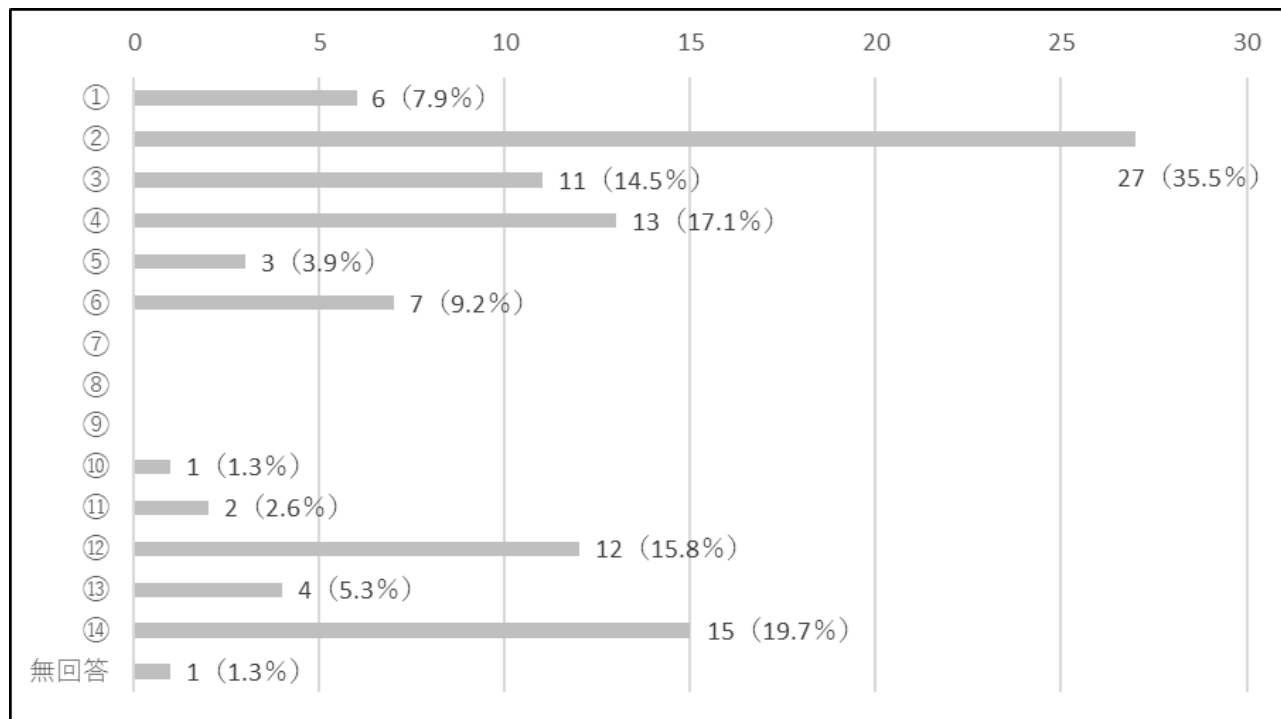
国籍	1年未満	1年～3年	4年～5年	ずっと大田市に住む	大田市から離れるが、日本にずっと住む	わからない	その他	無回答	合計
ブラジル	1 1.3%	6 7.9%	9 11.8%	7 9.2%		10 13.2%	1 1.3%		34 44.7%
フィリピン	1 1.3%	1 1.3%		4 5.3%	1 1.3%	5 6.6%	1 1.3%		13 17.1%
中国		4 5.3%		6 7.9%				1 1.3%	11 14.5%
韓国、朝鮮				6 7.9%		1 1.3%			7 9.2%
ベトナム	1 1.3%	2 2.6%	1 1.3%						4 5.3%
その他			1 1.3%	2 2.6%		2 2.6%			5 6.6%
無回答	1 1.3%	1 1.3%							2 2.6%
合計	4 5.3%	14 18.4%	11 14.5%	25 32.9%	1 1.3%	18 23.7%	2 2.6%	1 1.3%	76 100.0%

・大田市での暮らしに満足していますか（１つに○）（市のみ）

国籍	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば満足していない	満足していない	わからない	合計
ブラジル	6 12.2%	10 20.4%	1 2.0%	1 2.0%		18 36.7%
フィリピン	4 8.2%	5 10.2%		1 2.0%	1 2.0%	11 22.4%
中国	1 2.0%	1 2.0%	6 12.2%		1 2.0%	9 18.4%
韓国、朝鮮	1 2.0%	2 4.1%		1 2.0%		4 8.2%
その他	1 2.0%	4 8.2%				5 10.2%
無回答		2 4.1%				2 4.1%
合計	13 26.5%	24 49.0%	7 14.3%	3 6.1%	2 4.1%	49 100.0%

だれ す 誰と住んでいますか（あてはまるものすべてに○）（回答者：76人）

設問内容	回答数	比率
① 1人で住んでいる	6	7.9%
② 結婚相手（日本国籍）	27	35.5%
③ 結婚相手（日本国籍以外）	11	14.5%
④ 子ども	13	17.1%
⑤ 父親（あなたの父親、結婚相手の父親）	3	3.9%
⑥ 母親（あなたの母親、結婚相手の母親）	7	9.2%
⑦ 祖父（あなたの祖父、結婚相手の祖父）		
⑧ 祖母（あなたの祖母、結婚相手の祖母）		
⑨ 恋人		
⑩ 兄弟姉妹（あなたの兄弟姉妹、結婚相手の兄弟姉妹）	1	1.3%
⑪ 孫	2	2.6%
⑫ 友人、知人	12	15.8%
⑬ その他	4	5.3%
⑭ 結婚相手（国籍問わず）（県）	15	19.7%
無回答	1	1.3%
合計	102	



す
・住んでいる建物^{たても}はどれですか（1 つに○）

くせき 国籍	じゅうきよけたい 住居 形態	こうにゆう いっこ だ 購入した一戸建て (マンション含む)	か 借りている 一戸建て	じぶん か 自分で借りている 民間のアパート	かいしゃ しゃたく かいしゃ 会社の社宅や会社 けいやく あぱーと 契約のアパート	た その他	むかいとう 無回答	ごうけい 合計
ぶらじる ブラジル		1 1.3%		5 6.6%	27 35.5%	1 1.3%		34 44.7%
ふいりびん フィリピン		7 9.2%	2 2.6%		4 5.3%			13 17.1%
ちゅうごく 中国		4 5.3%			5 6.6%	1 1.3%	1 1.3%	11 14.5%
かんこく ちょうせん 韓国、朝鮮		5 6.6%		1 1.3%		1 1.3%		7 9.2%
べとなむ ベトナム			1 1.3%		3 3.9%			4 5.3%
た その他		2 2.6%		1 1.3%	1 1.3%	1 1.3%		5 6.6%
むかいとう 無回答			1 1.3%		1 1.3%			2 2.6%
ごうけい 合計		19 25.0%	4 5.3%	7 9.2%	41 53.9%	4 5.3%	1 1.3%	76 100.0%

にほんじん こうりゆう
2) 日本人との交流

きんじょ にほんじん こうりゆう
・近所の日本人との交流はありますか（1 つに○）

くせき 国籍	こうりゆう 交流の うむ 有無	した こうりゆう 親しく交流 している	ほか あいさつの他に ときどきはなし 時々話もする	あいさつを ていど する程度	とく こうりゆう 特に交流は ない	むかいとう 無回答	ごうけい 合計
ぶらじる ブラジル		1 1.3%	4 5.3%	25 32.9%	4 5.3%		34 44.7%
ふいりびん フィリピン		2 2.6%	6 7.9%	2 2.6%	2 2.6%	1 1.3%	13 17.1%
ちゅうごく 中国		2 2.6%	4 5.3%	5 6.6%			11 14.5%
かんこく ちょうせん 韓国、朝鮮		4 5.3%	3 3.9%				7 9.2%
べとなむ ベトナム				1 1.3%	3 3.9%		4 5.3%
た その他			4 5.3%	1 1.3%			5 6.6%
むかいとう 無回答				2 2.6%			2 2.6%
ごうけい 合計		9 11.8%	21 27.6%	36 47.4%	9 11.8%	1 1.3%	76 100.0%

• 日本人とどのような交流がしたいか（１つに○）

- ①積極的に交流したい
②特に交流したいとは思わない
③その他

回答 (交流はあるか)	親しく交流している		あいさつの他に時々話をする				あいさつをする程度				特に交流はない			無回答	合計
	①	③	①	②	③	無回答	①	②	③	無回答	①	②	無回答	①	
ブラジル	1 1.3%		2 2.6%		1 1.3%	1 1.3%	14 18.4%	5 6.6%	5 6.6%	1 1.3%	3 3.9%	1 1.3%			34 44.7%
フィリピン	2 2.6%		3 3.9%	2 2.6%	1 1.3%		1 1.3%		1 1.3%			2 2.6%		1 1.3%	13 17.1%
中国	2 2.6%		2 2.6%	1 1.3%	1 1.3%		5 6.6%								11 14.5%
韓国、朝鮮	3 3.9%	1 1.3%		2 2.6%		1 1.3%									7 9.2%
ベトナム							1 1.3%					2 2.6%	1 1.3%		4 5.3%
その他			2 2.6%	1 1.3%	1 1.3%			1 1.3%							3 3.9%
無回答							2 2.6%								2 2.6%
合計	8 10.5%	1 1.3%	9 11.8%	6 7.9%	4 5.3%	2 2.6%	23 30.3%	6 7.9%	6 7.9%	1 1.3%	3 3.9%	5 6.6%	1 1.3%	1 1.3%	76 100.0%

• 自治会（町内会）に加入していますか（１つに○）

回答 (加入しているか)	加入している		加入していない		わからない	無回答	合計
	①	③	①	②	③	無回答	
ブラジル	1 1.3%		31 40.8%		1 1.3%	1 1.3%	34 44.7%
フィリピン	3 3.9%		7 9.2%		2 2.6%	1 1.3%	13 17.1%
中国	4 5.3%		6 7.9%			1 1.3%	11 14.5%
韓国、朝鮮	5 6.6%		1 1.3%		1 1.3%		7 9.2%
ベトナム			3 3.9%		1 1.3%		4 5.3%
その他	3 3.9%		2 2.6%				5 6.6%
無回答			2 2.6%				2 2.6%
合計	16 21.1%		52 68.4%		5 6.6%	3 3.9%	76 100.0%

- ・自治会（町内会）に加入したいですか（加入していない方の内、市のみ 1 つに○）

自治会加入 の意思 国籍	加入したい	どちらかといえば 加入したい	加入したい とは思わない	無回答	合計
ブラジル	1 2.8%	8 22.2%	7 19.4%	1 2.8%	17 47.2%
フィリピン		2 5.6%	4 11.1%	2 5.6%	8 22.2%
中国	4 11.1%	2 5.6%			6 16.7%
韓国、朝鮮			1 2.8%		1 2.8%
その他			1 2.8%		1 2.8%
無回答	1 2.8%	2 5.6%			3 8.3%
合計	6 16.7%	14 38.9%	13 36.1%	3 8.3%	36 100.0%

3) 日本語能力について

- ・日本語がどのくらいできますか

A) 日本語を聞く（1 つに○）

- ① テレビのニュース、ドラマを聞き取ることができる
 ② 相手がゆっくり話せば聞き取ることができる
 ③ 単語だけ聞き取ることができる
 ④ ほとんど聞き取ることができない

回答 国籍	①	②	③	④	合計
ブラジル	3 3.9%	12 15.8%	13 17.1%	6 7.9%	34 44.7%
フィリピン	6 7.9%	6 7.9%	1 1.3%		13 17.1%
中国	3 3.9%	2 2.6%	5 6.6%	1 1.3%	11 14.5%
韓国、朝鮮	7 9.2%				7 9.2%
ベトナム		1 1.3%	1 1.3%	2 2.6%	4 5.3%
無回答		1 1.3%	1 1.3%		2 2.6%
その他	2 2.6%	3 3.9%			5 6.6%
合計	21 27.6%	25 32.9%	21 27.6%	9 11.8%	76 100.0%

B) 日本語を話す（1 つに○）

- ① ①自分の意見を問題なく話すことができる
 ② ②簡単な日常会話ができる
 ③ ③決まったあいさつ、単語は言うことができる
 ④ ④ほとんど話すことができない

国籍	回答	①	②	③	④	無回答	ごうけい 合計
ブラジル		2 2.6%	7 9.2%	18 23.7%	7 9.2%		34 44.7%
フィリピン		4 5.3%	6 7.9%	3 3.9%			13 17.1%
中国		2 2.6%	4 5.3%	5 6.6%			11 14.5%
韓国、朝鮮		7 9.2%					7 9.2%
ベトナム			1 1.3%	2 2.6%		1 1.3%	4 5.3%
その他		2 2.6%	2 2.6%	1 1.3%			5 6.6%
無回答			1 1.3%	1 1.3%			2 2.6%
ごうけい 合計		17 22.4%	21 27.6%	30 39.5%	7 9.2%	1 1.3%	76 100.0%

C) 日本語を読む（1 つに○）

- ① ①新聞や雑誌を読むことができる
 ② ②簡単な漢字交じりの言葉を読むことができる
 ③ ③ひらがなまたはカタカナは読むことができる
 ④ ④ほとんど読むことができない

国籍	回答	①	②	③	④	ごうけい 合計
ブラジル		3 3.9%	5 6.6%	13 17.1%	13 17.1%	34 44.7%
フィリピン			2 2.6%	10 13.2%	1 1.3%	13 17.1%
中国		2 2.6%	2 2.6%	7 9.2%		11 14.5%
韓国、朝鮮		6 7.9%	1 1.3%			7 9.2%
ベトナム			1 1.3%	2 2.6%	1 1.3%	4 5.3%
その他		1 1.3%	4 5.3%			5 6.6%
無回答			1 1.3%	1 1.3%		2 2.6%
ごうけい 合計		12 15.8%	16 21.1%	33 43.4%	15 19.7%	76 100.0%

D) 日本語を書く（１つに○）

- ① 文章を問題なく書くことができる
 ② 簡単な漢字交じりの文章を書くことができる
 ③ ひらがなまたはカタカナは書くことができる
 ④ ほとんど書くことができない

国籍	①	②	③	④	無回答	合計
ブラジル	1 1.3%	3 3.9%	14 18.4%	16 21.1%		34 44.7%
フィリピン			11 14.5%	1 1.3%	1 1.3%	13 17.1%
中国	1 1.3%	1 1.3%	9 11.8%			11 14.5%
韓国、朝鮮	5 6.6%	1 1.3%	1 1.3%			7 9.2%
ベトナム			3 3.9%	1 1.3%		4 5.3%
その他		4 5.3%	1 1.3%			5 6.6%
無回答		1 1.3%	1 1.3%			2 2.6%
合計	7 9.2%	10 13.2%	40 52.6%	18 23.7%	1 1.3%	76 100.0%

・現在、日本語を勉強していますか（１つに○）

国籍	している	していない	合計
ブラジル	7 9.2%	27 35.5%	34 44.7%
フィリピン	5 6.6%	8 10.5%	13 17.1%
中国	3 3.9%	8 10.5%	11 14.5%
韓国、朝鮮		7 9.2%	7 9.2%
ベトナム	4 5.3%		4 5.3%
その他	1 1.3%	4 5.3%	5 6.6%
無回答	1 1.3%	1 1.3%	2 2.6%
合計	21 27.6%	55 72.4%	76 100.0%

A) これから^{にほんご}日本語を勉強^{べんきょう}したいですか（勉強^{べんきょう}していない方^{かた}、1 つに○）

- ①勉強^{べんきょう}したい
 ②機会^{きかい}があれば勉強^{べんきょう}したい
 ③不自由^{ふじゆう}していないので勉強^{べんきょう}する必要^{ひつよう}はない
 ④勉強^{べんきょう}したくない
 ⑤その他^た

国籍 ^{こくせき} / 設問 ^{せつもん}	①	②	③	④	⑤	無回答 ^{むかいとう}	合計 ^{ごうけい}
ブラジル ^{ぶらじる}	14 25.5%	11 20.0%	1 1.8%			1 1.8%	27 49.1%
フィリピン ^{ふいりぴん}		5 9.1%	2 3.6%			1 1.8%	8 14.5%
中国 ^{ちゅうごく}	2 3.6%	4 7.3%	1 1.8%	1 1.8%			8 14.5%
韓国、朝鮮 ^{かんこく ちょうせん}			6 10.9%			1 1.8%	7 12.7%
その他 ^た	1 1.8%	2 3.6%			1 1.8%		4 7.3%
無回答 ^{むかいとう}		1 1.8%					1 1.8%
合計 ^{ごうけい}	17 30.9%	23 41.8%	10 18.2%	1 1.8%	1 1.8%	3 5.5%	55 100.0%

B) 今^{いま}、日本語を勉強^{べんきょう}していない理由^{りゆう}はなんですか
 （設問Aで「①勉強^{べんきょう}したい」、「②機会^{きかい}があれば勉強^{べんきょう}したい」という方^{かた}、1 つに○）

- ①忙^{いそが}しくて時間^{じかん}がない
 ②どうやって勉強^{べんきょう}したらいいかわからない
 ③近く^{ちか}に日本語教室^{にほんごぎょうしつ}がない
 ④日本語教室^{にほんごぎょうしつ}の時間^{じかん}が合わない
 ⑤日本語教室^{にほんごぎょうしつ}の教え方^{おし かた}や内容^{ないよう}、レベル^{れ べる}が合わない
 ⑥その他^た

国籍 ^{こくせき} / 設問 ^{せつもん}	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答 ^{むかいとう}	合計 ^{ごうけい}
ブラジル ^{ぶらじる}	8 18.6%	3 7.0%	1 2.3%	7 16.3%	1 2.3%	3 7.0%	3 7.0%	26 60.5%
フィリピン ^{ふいりぴん}	2 4.7%	1 2.3%	2 4.7%				1 2.3%	6 14.0%
中国 ^{ちゅうごく}	1 2.3%		5 11.6%					6 14.0%
韓国、朝鮮 ^{かんこく ちょうせん}							1 2.3%	1 2.3%
その他 ^た		2 4.7%	1 2.3%					3 7.0%
無回答 ^{むかいとう}			1 2.3%					1 2.3%
合計 ^{ごうけい}	11 25.6%	6 14.0%	10 23.3%	7 16.3%	1 2.3%	3 7.0%	5 11.6%	43 100.0%

4) 子どものことについて

・子どもがいますか（1 つに○）

かいとう 回答	かいとうすう 回答数	ひりつ 比率	せつもんないよう 設問内容		
いる	47	61.8%	いる	にん 人	ひりつ 比率
			1人	16	34.0%
			2人	23	48.9%
			3人	5	10.6%
			4人以上	3	6.4%
			ごうけい 合計	47	100.0%
いない	29	38.2%	いない		
ごうけい 合計	76	100.0%			

3人目までの子どもについて a～e の設問

a) 子どもの年齢（1 つに○）

子ども	ねんれい 年齢	0～5才	6～12才	13～15才	16～18才	19才以上	むかいとう 無回答	ごうけい 合計
	さい	さい	さい	さい	さい	さいじょう		
1人目	にんめ	8	9	6	5	16	3	47
		9.3%	10.5%	7.0%	5.8%	18.6%	3.5%	54.7%
2人目	にんめ	6	4	4	2	10	5	31
		7.0%	4.7%	4.7%	2.3%	11.6%	5.8%	36.0%
3人目	にんめ	2	1			4	1	8
		2.3%	1.2%			4.7%		8.6%
ごうけい 合計		16	14	10	7	30	9	86
		18.6%	16.3%	11.6%	8.1%	34.9%	10.5%	100.0%

b) 子どもが生まれた場所（1 つに○）

子ども	せいたんこく 生誕国	にほん 日本	ぼこく 母国	その他	むかいとう 無回答	ごうけい 合計
1人目	にんめ	22	18		7	47
		25.6%	20.9%		8.1%	54.7%
2人目	にんめ	14	8		9	31
		16.3%	9.3%		10.5%	36.0%
3人目	にんめ	3	3		2	8
		3.5%	3.5%		2.3%	9.3%
ごうけい 合計		39	29		18	86
		45.3%	33.7%		20.9%	100.0%

c) 子どもが住んでいる場所（1 つに○）

子ども	すむ ばしょ 住む場所	いっしょ す 一緒に住んでいる	べつ ばしょ す 別の場所に住んでいる	むかいとう 無回答	ごうけい 合計
にんめ 1人目		16	27	4	47
		18.6%	31.4%	4.7%	54.7%
		(②内訳 日本：9 母国：16 無回答：2)			
にんめ 2人目		10	17	4	31
		11.6%	19.8%	4.7%	36.0%
		(②内訳 日本：4 母国：11 無回答：2)			
にんめ 3人目		2	6		8
		2.3%	7.0%		9.3%
		(②内訳 日本：1 母国：3 無回答：2)			
ごうけい 合計		28	50	8	86
		32.6%	58.1%	9.3%	100.0%

d) 子どもはがっこう ほういくえんとう かよ
学校や保育園等に通っているか（1 つに○）

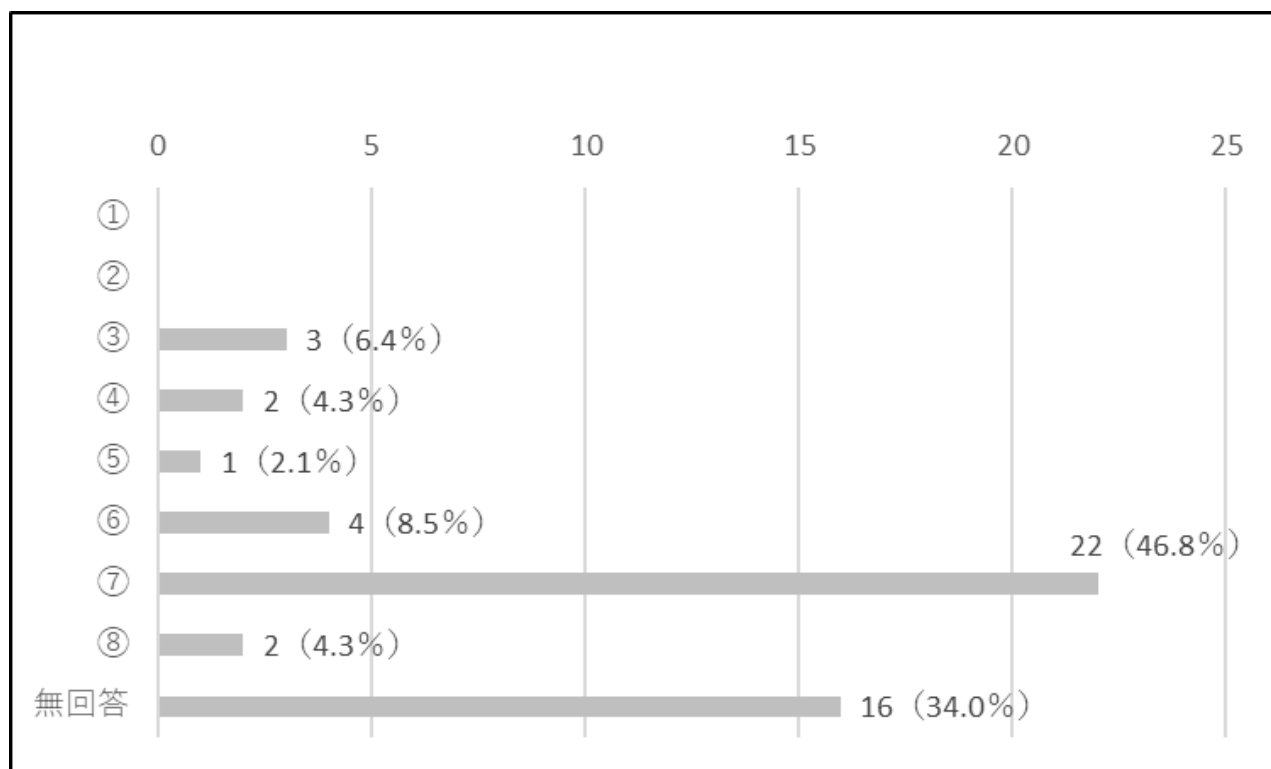
子ども	がっこうとう かよ 学校等に通っているか	がっこう 学校などに かよ 通っている	かよ 通って いない	むかいとう 無回答	ごうけい 合計
にんめ 1人目		22	12	13	47
		25.6%	14.0%	15.1%	54.7%
にんめ 2人目		16	7	8	31
		18.6%	8.1%	9.3%	36.0%
にんめ 3人目		4	2	2	8
		4.7%	2.3%	2.3%	9.3%
ごうけい 合計		42	21	23	86
		48.8%	24.4%	26.7%	100.0%

e) 子どもにほんごのうりよく
子どもの日本語能力について（1 つに○）

子ども	にほんご のうりよく 能力	にほんご 日本語の授業を理解できる	にほんご 日本語の授業を理解するのは むずかしいが、日常生活では困らない	できない	むかいとう 無回答	ごうけい 合計
にんめ 1人目		17	1	17	12	47
		19.8%	1.2%	19.8%	14.0%	54.7%
にんめ 2人目		10		9	12	31
		11.6%		10.5%	14.0%	36.0%
にんめ 3人目		1		3	4	8
		1.2%		3.5%	4.7%	9.3%
ごうけい 合計		28	1	29	28	86
		32.6%	1.2%	33.7%	32.6%	100.0%

- ・子どもの教育について心配なことはありますか（あてはまるもの全てに○）
（回答者：47人）

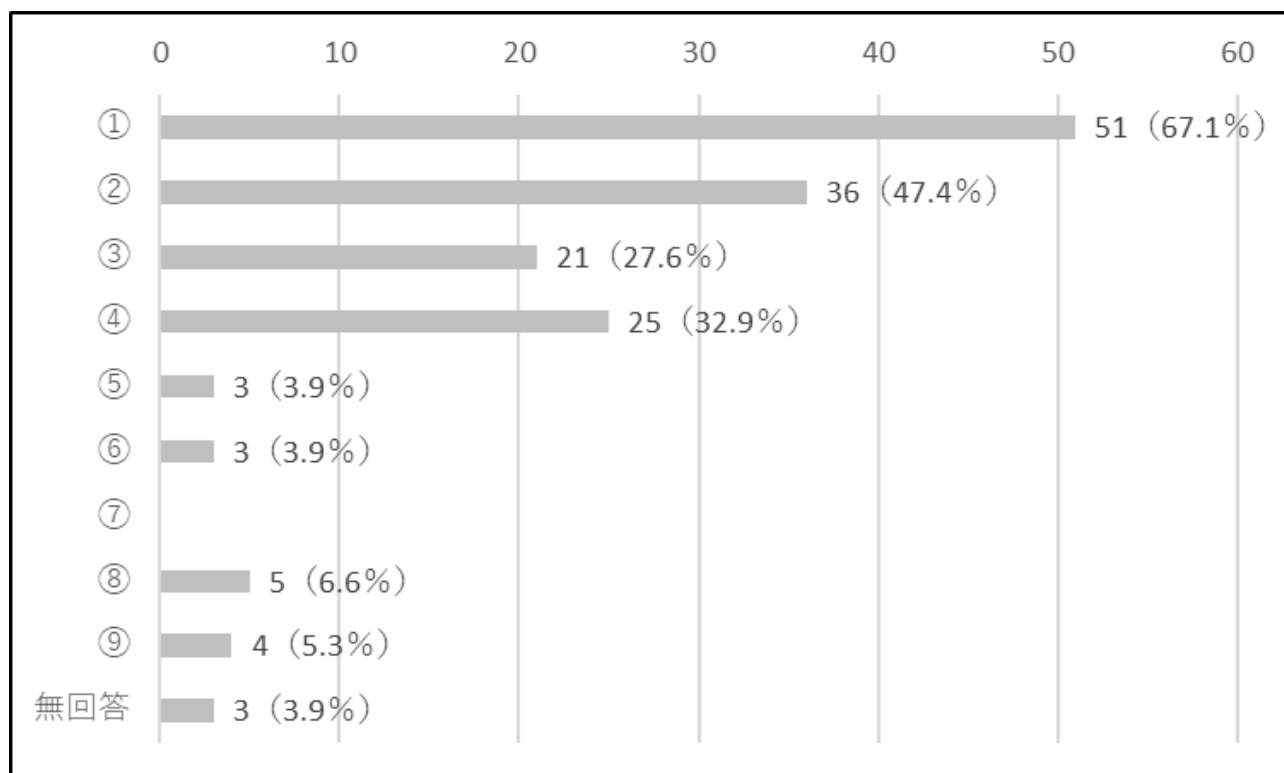
設問内容	回答数	比率
①日本語が十分にできず、授業についていけない		
②子どもの不就学のこと		
③子どもの不登校のこと	3	6.4%
④子どもの進学のこと	2	4.3%
⑤子どもが日本の文化・習慣になじめない	1	2.1%
⑥子どもがいじめられている	4	8.5%
⑦特にない	22	46.8%
⑧その他	2	4.3%
無回答	16	34.0%
合計	50	



5) 日常生活について

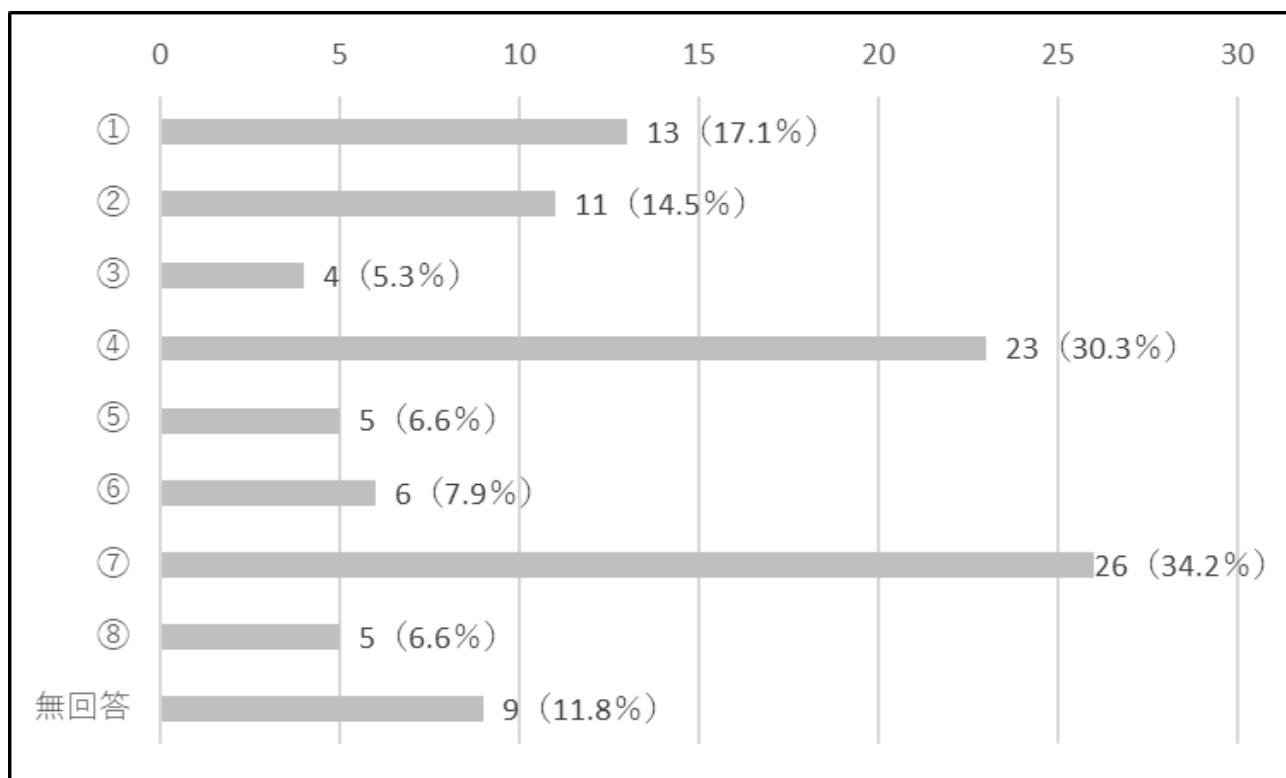
- ・日常生活や仕事で困ったことがある場合、どこに（または誰に）相談しますか
（特にあてはまるもの3つに○）（回答者：76人）

設問内容	回答数	比率
①家族、親戚	51	67.1%
②会社の人	36	47.4%
③日本人の友人、知人	21	27.6%
④日本人以外の友人、知人	25	32.9%
⑤日本語教室やボランティア団体	3	3.9%
⑥公の機関（役所の窓口、ハローワーク、領事館など）	3	3.9%
⑦（公財）しまね国際センターの相談窓口や外国人サポーター		
⑧相談する人がいない、または誰に相談したらいいかわからない	5	6.6%
⑨その他	4	5.3%
無回答	3	3.9%
合計	151	



・現在、^{げんざい}困^{こま}っていることは何^{なん}ですか（特^{とく}にあてはまるもの2つに○）（回答者^{かいとうしや}：76人^{にん}）

設問内容 ^{せつもんないよう}	回答数 ^{かいとうすう}	比率 ^{ひりつ}
①会社 ^{かいしゃ} や仕事 ^{しごと} のこと	13	17.1%
②子ども ^こ のこと（学校 ^{がっこう} や進学 ^{しんがく} 、出産 ^{しゅっさん} ・育児 ^{いくじ} など）や、家族 ^{かぞく} のこと	11	14.5%
③住居 ^{じゅうきょ} のこと	4	5.3%
④病気 ^{びょうき} やけが ^{けが} をした時 ^{とき} のこと	23	30.3%
⑤日本 ^{にほん} の習慣 ^{しゅうかん} や生活 ^{せいかつ} になじめない	5	6.6%
⑥失業 ^{しつぎょう} 、または収入 ^{しゅうにゅう} が少 ^{すく} ない	6	7.9%
⑦特 ^{とく} にない	26	34.2%
⑧その他 ^た	5	6.6%
無回答 ^{むかいとう}	9	11.8%
合計 ^{ごうけい}	102	



・自分や家族が病気になったとき、どうしますか（1 つに○）

回答 国籍	すぐに病院 に行く	薬を買って の飲む	がまん 我慢する	む かいとう 無回答	その他	ごうけい 合計
ぶら じる ブラジル	18 23.7%	9 11.8%	4 5.3%	1 1.3%	2 2.6%	34 44.7%
ふ い り び ん フィリピン	12 15.8%				1 1.3%	13 17.1%
ちゅうごく 中国	10 13.2%		1 1.3%			11 14.5%
かんこく ちょうせん 韓国、朝鮮	6 7.9%			1 1.3%		7 9.2%
べ と な む ベトナム	3 3.9%	1 1.3%				4 5.3%
その他	3 3.9%	2 2.6%				5 6.6%
む かいとう 無回答	2 2.6%					2 2.6%
ごうけい 合計	54 71.1%	12 15.8%	5 6.6%	2 2.6%	3 3.9%	76 100.0%

・病院での言葉の問題について、どのように対処していますか（1 つに○）

- ①日本語ができるので問題ない
- ②日本語のできる家族や友人を連れていく
- ③通訳を雇っていく
- ④（公財）しまね国際センターのコミュニティ通訳ボランティアを頼む
- ⑤その他

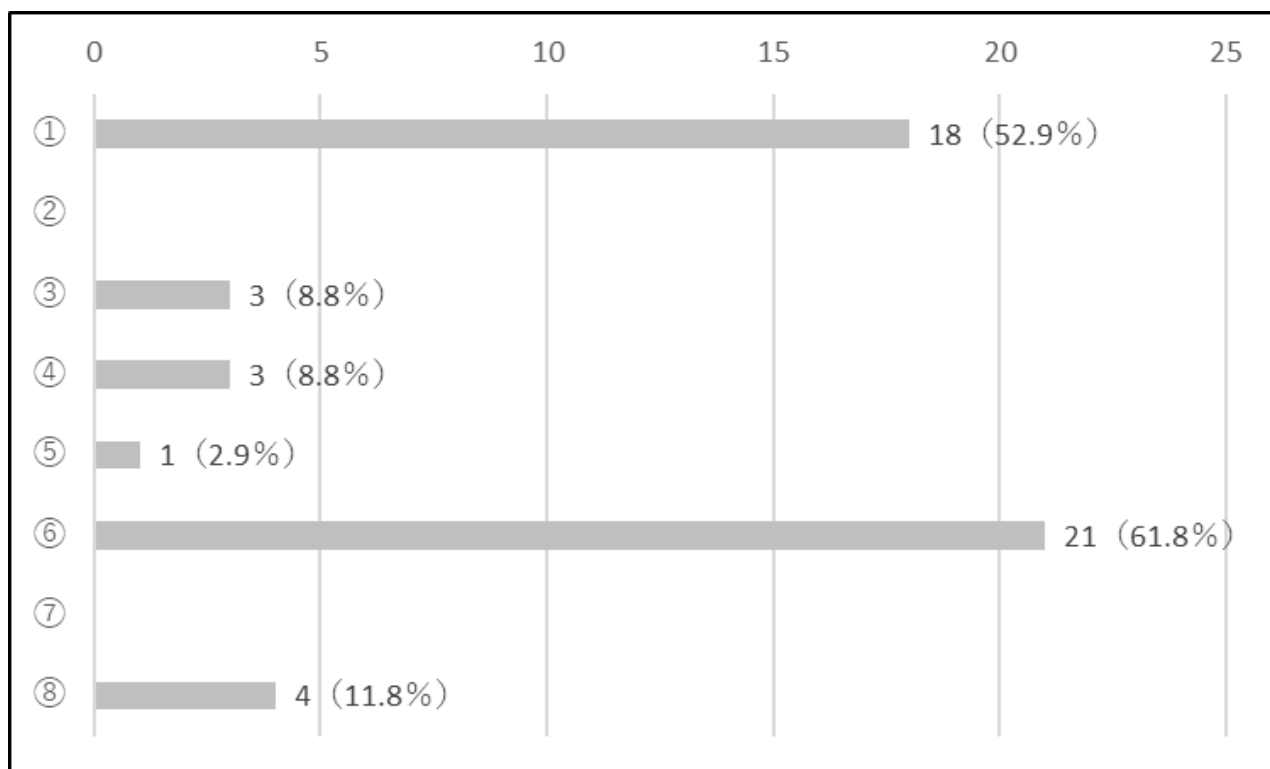
設問 国籍	①	②	③	⑤	む かいとう 無回答	ごうけい 合計
ぶら じる ブラジル	5 6.6%	9 11.8%	8 10.5%	12 15.8%		34 44.7%
ふ い り び ん フィリピン	7 9.2%	3 3.9%		2 2.6%	1 1.3%	13 17.1%
ちゅうごく 中国	4 5.3%	2 2.6%	4 5.3%		1 1.3%	11 14.5%
かんこく ちょうせん 韓国、朝鮮	7 9.2%					7 9.2%
べ と な む ベトナム	1 1.3%	3 3.9%				4 5.3%
その他	2 2.6%	2 2.6%		1 1.3%		5 6.6%
む かいとう 無回答	1 1.3%		1 1.3%			2 2.6%
ごうけい 合計	27 35.5%	19 25.0%	13 17.1%	15 19.7%	2 2.6%	76 100.0%

- ・日常生活の中で、外国人であることを理由に、差別や人権侵害を受けたと感じたことがありますか（1 つに○）

かいとう 回答	かいとうすう 回答数	ひりつ 比率
ある	34	44.7%
ない	42	55.3%
ごうけい 合計	76	100.0%

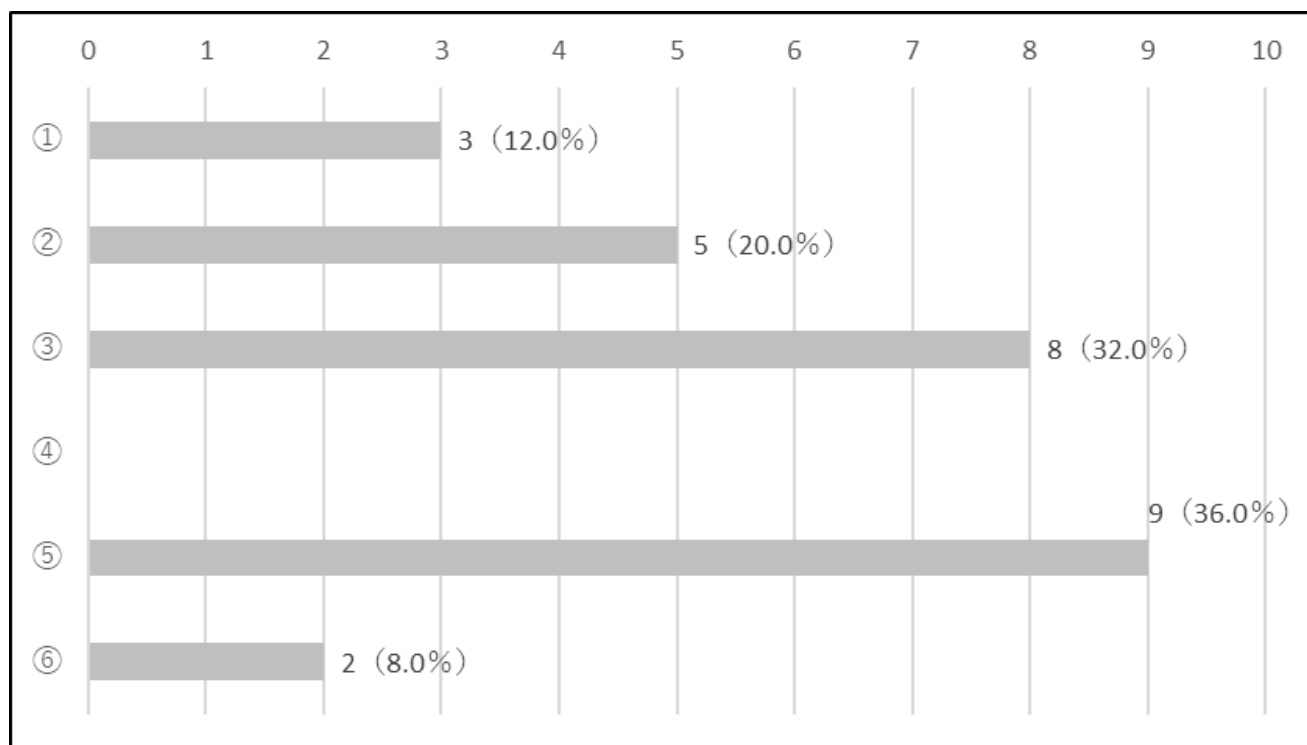
A) どのような場面で感じましたか（回答者：全体34人（市：25人））
（以下、差別等を感じたことがある方、あてはまるもの全てに○）

せつもんないよう 設問内容	かいとうすう 回答数	ひりつ 比率
① かいしゃ ひと ことば たいど ①会社の人の言葉や態度	18	52.9%
② おおやけ きかん やくしょ まどぐち は ろ - わ - く しよくいん たいおう ことば ②公の機関（役所の窓口、ハローワークなど）の職員の対応や言葉		
③ て れ び しんぶん ほうどう ③テレビや新聞などの報道	3	8.8%
④ きんじょ ひと ことば たいど ④近所の人言葉や態度	3	8.8%
⑤ かぞく しんせき ことば たいど ⑤家族や親戚の言葉や態度	1	2.9%
⑥ とお し ひと ことば たいど ⑥通りすがりの知らない人の言葉や態度	21	61.8%
⑦ ふくし ねんきん ぜいきん ぎょうせい し く じたい ⑦福祉、年金、税金などの行政の仕組み自体		
⑧ その他	4	11.8%
ごうけい 合計	50	



B) その時、あなたはどのように対応しましたか（あてはまるもの^{すべ}全てに○）
 （回答者：25人）（市のみ）

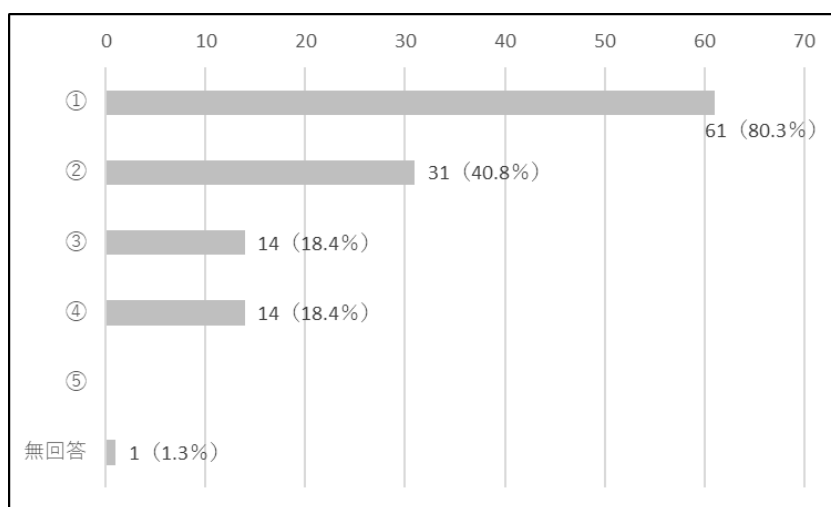
せつもんないよう 設問内容	かいとうすう 回答数	ひりつ 比率
①相手に抗議した あいて こうぎ	3	12.0%
②家族や親戚に相談した かぞく しんせき そうだん	5	20.0%
③職場の人や友人に相談した しょくば ひと ゆうじん そうだん	8	32.0%
④地域の人に相談した ちいき ひと そうだん		
⑤黙って我慢した だま がまん	9	36.0%
⑥その他 た	2	8.0%
ごうけい 合計	27	



6) 防災について

- 日本で災害を経験したことがありますか（あてはまるもの全てに○）
（回答者：76人）

設問内容	回答数	比率
①地震	61	80.3%
②台風	31	40.8%
③大雨、洪水	14	18.4%
④特にない	14	18.4%
⑤その他		
無回答	1	1.3%
合計	121	

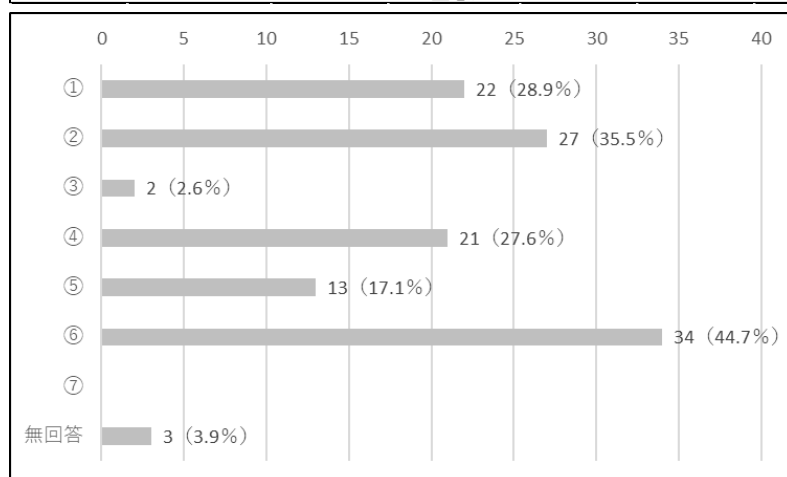


- 災害時の指定避難場所を知っていますか（1 つに○）

避難場所 の認識	知っている	知らない	無回答	合計
国籍				
ブラジル	20 26.3%	14 18.4%		34 44.7%
フィリピン	5 6.6%	6 7.9%	2 2.6%	13 17.1%
中国	8 10.5%	3 3.9%		11 14.5%
韓国、朝鮮	6 7.9%	1 1.3%		7 9.2%
ベトナム	3 3.9%	1 1.3%		4 5.3%
その他	4 5.3%	1 1.3%		5 6.6%
無回答	2 2.6%			2 2.6%
合計	48 63.2%	26 34.2%	2 2.6%	76 100.0%

- さいがい 災害のために備えていることはありますか（あてはまるもの全てに○）
 かいとうしゃ 回答者：76人

設問内容	かいとうすう 回答数	ひりつ 比率
①家の近く、職場、学校などで防災訓練に参加したことがある	22	28.9%
②災害が起きた時の避難方法の手順などを確認している	27	35.5%
③県や市町村の「防災メール」に登録している	2	2.6%
④非常持ち出し品や水、食料などを準備している	21	27.6%
⑤家族などとの連絡方法を決めている	13	17.1%
⑥特に何もしていない	34	44.7%
⑦その他		
むかいとう 無回答	3	3.9%
ごうけい 合計	122	



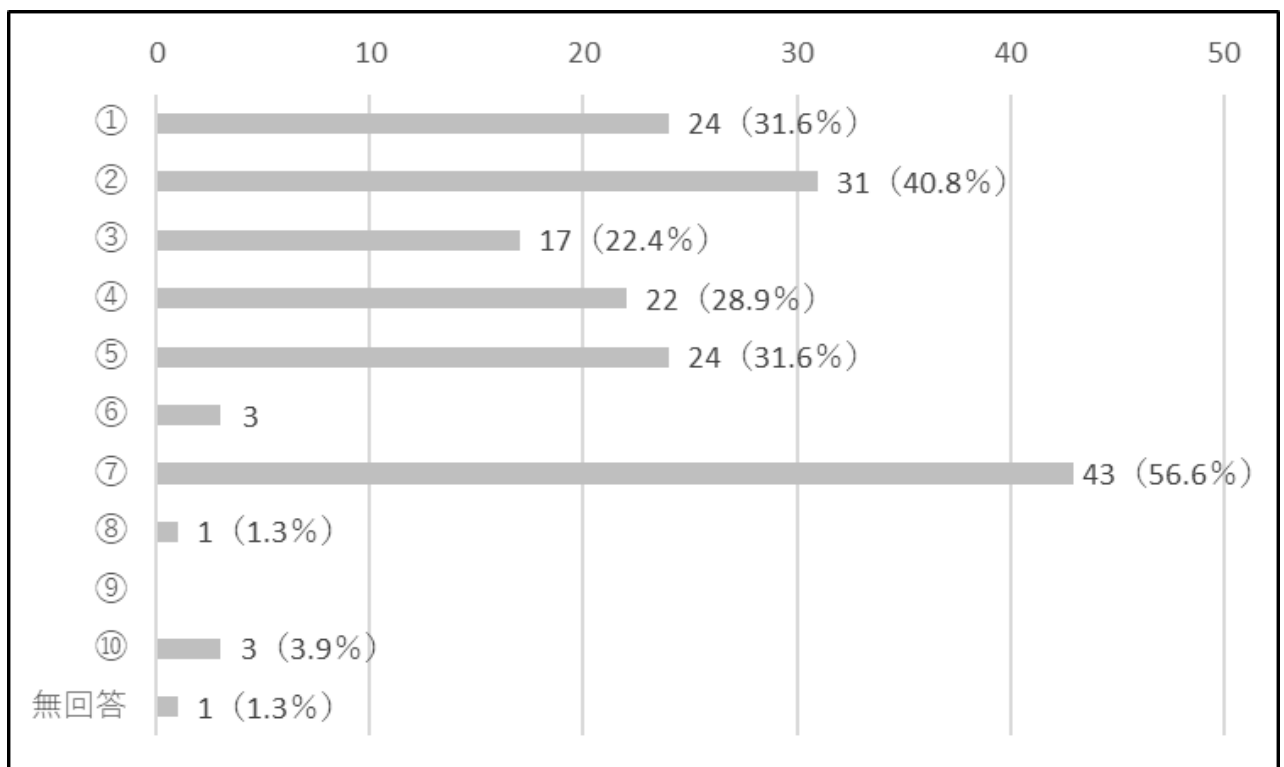
- じしん 地震や津波等の情報を、多言語で携帯電話やパソコンのメールで受取るサービス
 たげんご めーる 多言語メールマガジン（多言語メールマガジン）を知っていますか（1つに○）（市のみ）

国籍	かいとう 回答	とうろく 登録して いる	し 知っているが とうろく 登録はしていない	し 知らなかったが とうろく 登録してみたい	し 知らなかった、登録 するつもりはない	むかいとう 無回答	ごうけい 合計
ぶらじる ブラジル	3 6.1%	5 10.2%	10 20.4%				18 36.7%
ふいりびん フィリピン	4 8.2%	1 2.0%	3 6.1%	2 4.1%	1 2.0%		11 22.4%
ちゅうごく 中国		2 4.1%	6 12.2%	1 2.0%			9 18.4%
かんこく ちょうせん 韓国、朝鮮		1 2.0%		2 4.1%	1 2.0%		4 8.2%
その他		1 2.0%	3 6.1%	1 2.0%			5 10.2%
むかいとう 無回答			1 2.0%	1 2.0%			2 4.1%
ごうけい 合計	7 14.3%	10 20.4%	23 46.9%	7 14.3%	2 4.1%		49 100.0%

7) 行政からの情報について

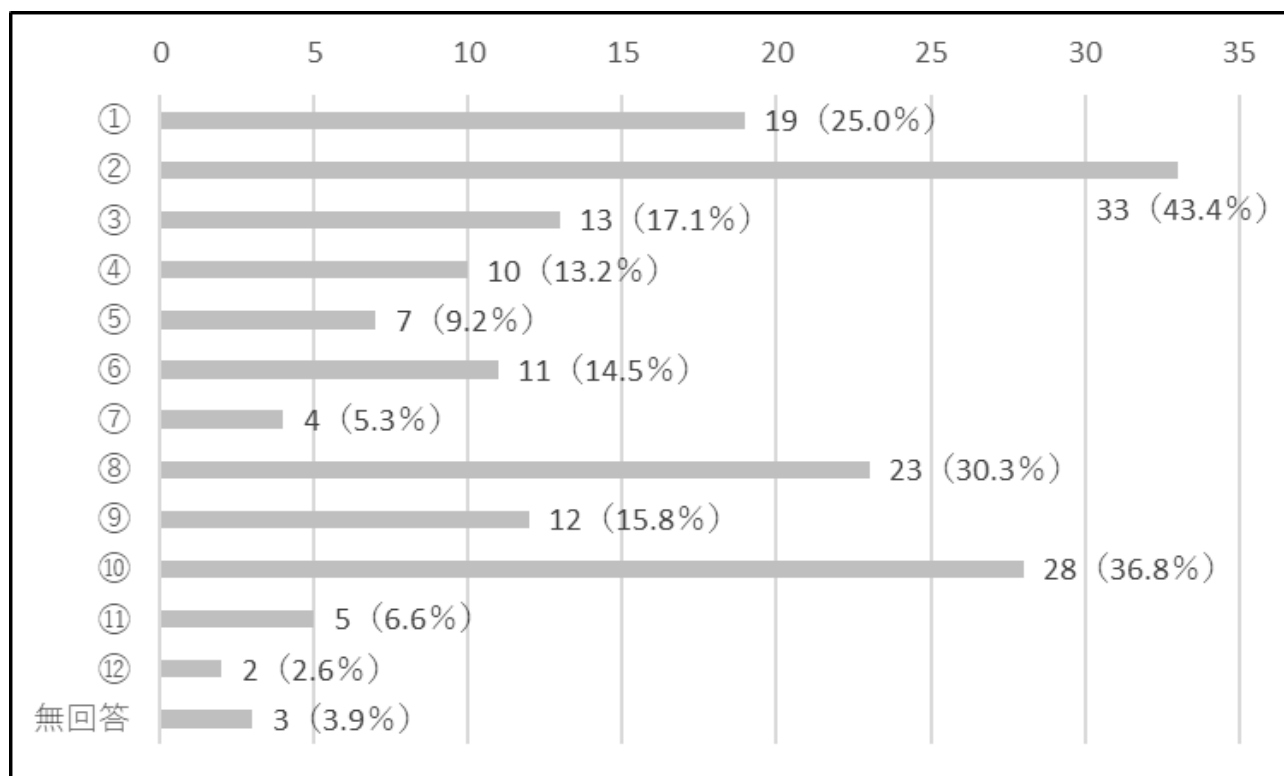
- ・よく利用するメディアや情報は何か（あてはまるもの全てに○）
（回答者：76人）

設問内容	回答数	比率
①母国語のテレビ、ラジオ、雑誌など	24	31.6%
②日本のテレビ、ラジオ、新聞	31	40.8%
③日本人の友人からの情報	17	22.4%
④日本人以外の友人からの情報	22	28.9%
⑤会社からの情報	24	31.6%
⑥県や市町村の広報紙やウェブサイト	3	3.9%
⑦SNS	43	56.6%
⑧日本語教室からの情報	1	1.3%
⑨NPOなどの団体からの情報		
⑩その他	3	3.9%
無回答	1	1.3%
合計	169	



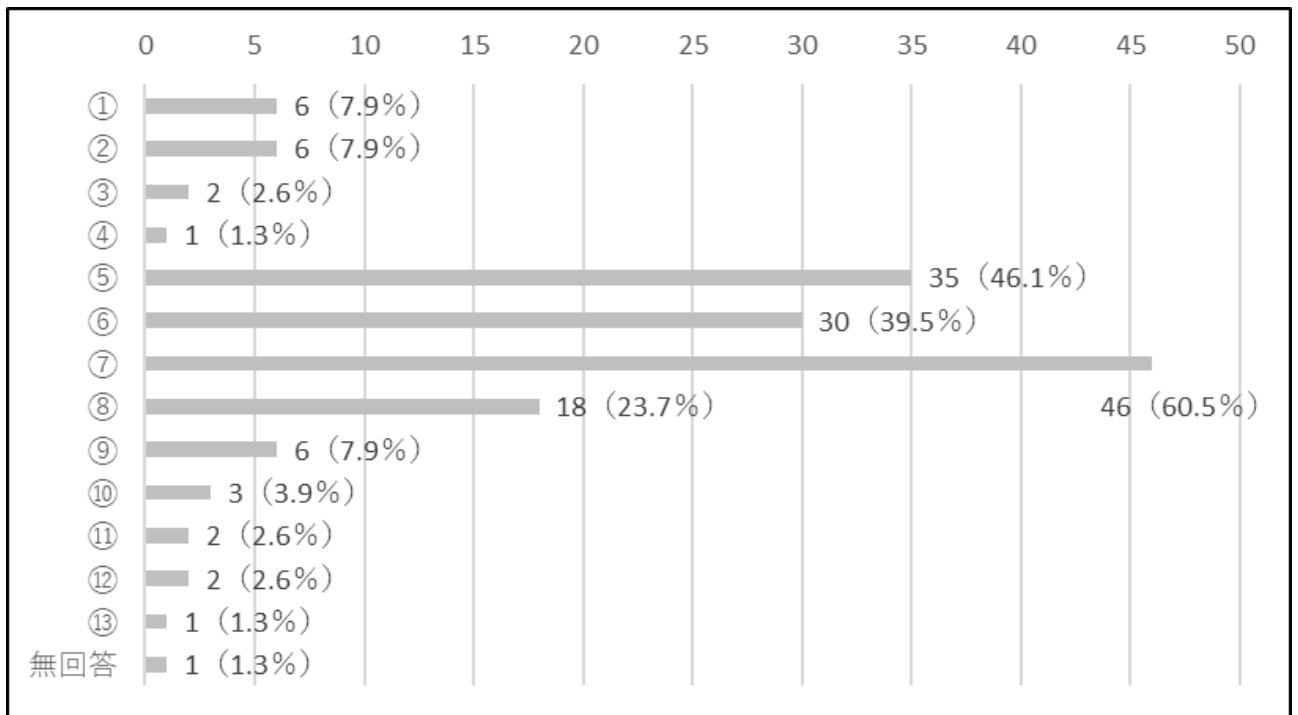
- げんざい
 ・現在、どのような情報が必要ですか（あてはまるもの3つに○）
 かいとうしゃ にん
 （回答者：76人）

せつもんないよう 設問内容	かいとうすう 回答数	ひりつ 比率
①就職、仕事 しゅうしょくしごと	19	25.0%
②医療、病院、福祉 いりょう びょういん ふくし	33	43.4%
③ゴミ出しなどの生活ルール、生活習慣 ごみだ せいかつ るーる せいかつしゅうかん	13	17.1%
④行政サービス ぎょうせいさーびす	10	13.2%
⑤交通機関、交通手段 こうつうきかん こうつうしゅだん	7	9.2%
⑥学校、育児 がっこう いくじ	11	14.5%
⑦住宅 じゅうたく	4	5.3%
⑧防災 ぼうさい	23	30.3%
⑨地域のイベント ちいき いべんと	12	15.8%
⑩日本語教室 にほんご きょうしつ	28	36.8%
⑪ボランティア団体の紹介 ぼらんてぃあ だんたい しょうかい	5	6.6%
⑫その他 た	2	2.6%
むかいとう 無回答	3	3.9%
ごうけい 合計	170	



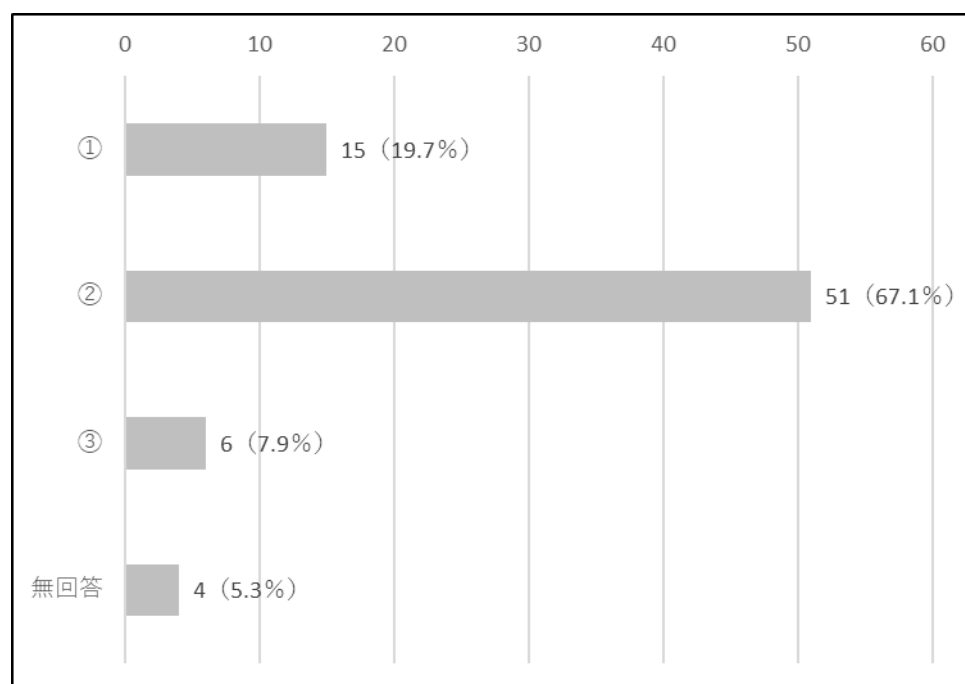
A) どのような方法（場所）だと情報を得やすいですか
（あてはまるもの3つに○）（回答者：76人）

設問内容	回答数	比率
① 県や市町村の窓口	6	7.9%
② 県や市町村のウェブサイトや広報誌	6	7.9%
③ 公の施設（図書館、公民館など）	2	2.6%
④ 出入国在留管理局	1	1.3%
⑤ 学校や勤務先	35	46.1%
⑥ テレビ、ラジオ、新聞	30	39.5%
⑦ SNS	46	60.5%
⑧ ポスター、リーフレット、チラシ	18	23.7%
⑨ メールマガジン	6	7.9%
⑩ ボランティア団体を通じて	3	3.9%
⑪ 日本語教室	2	2.6%
⑫ （公財）しまね国際センター	2	2.6%
⑬ その他	1	1.3%
無回答	1	1.3%
合計	159	



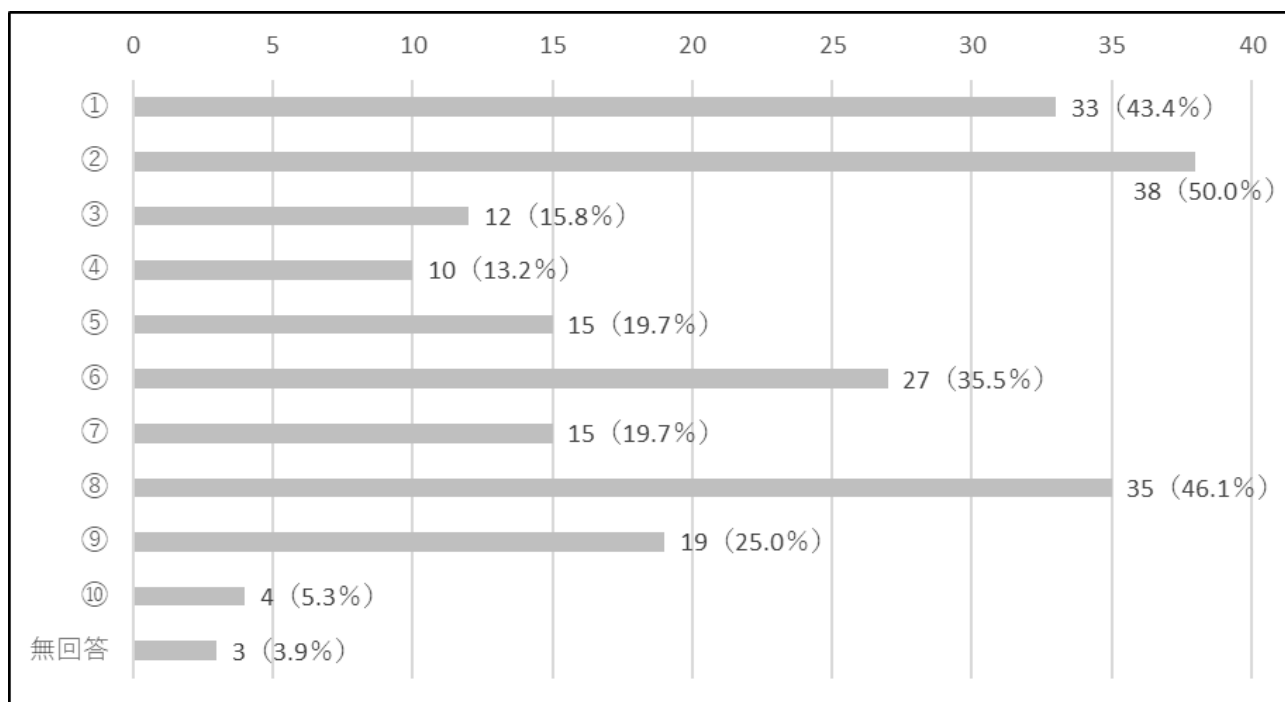
B) どの言語での情報提供を望みますか（1 つに○）

設問内容	回答数	比率
①日本語（やさしい日本語を含む）	15	19.7%
②母国語	51	67.1%
③英語	6	7.9%
無回答	4	5.3%
合計	76	



- ・これからどのような行政サービスを望みますか（あてはまるもの3つに○）
（回答者：76人）

設問内容	回答数	比率
①行政情報の多言語化の充実	33	43.4%
②行政の窓口における通訳の充実	38	50.0%
③外国人の子どもに対する教育支援の充実	12	15.8%
④生活相談窓口の充実	10	13.2%
⑤日本人との交流窓口の充実	15	19.7%
⑥防災対策などの多言語化の充実	27	35.5%
⑦仕事の相談窓口の充実	15	19.7%
⑧日本文化、生活習慣、日本語などを学ぶ機会の充実	35	46.1%
⑨外国人が各国の文化や伝統芸能を紹介する機会の充実	19	25.0%
⑩その他	4	5.3%
無回答	3	3.9%
合計	211	



8) 自由記述

①・文化の違いが悩み

- ・交流できるような公園や場所が少ない

②・仕事探しが一番困っている（大田が好きだが、仕事選びに限りがある）

- ・外国人を雇ってくれる会社が欲しい

③・病院に行ったとき、日本語が話せないため、電話対応や初級フレーズが書かれた紙があれば良いと思う

- ・病院内に通訳の人がいれば助かります（緊急時に対応してもらいたい）

④・病院の住所を教えてもらえると助かる

- ・病院の予約方法や診察方法、ごみの出し方など、教えてもらいたかった

おおだしたぶんかきょうせいすいしんけいかく かしょう さくていいんかいせっちようこう
○大田市多文化共生推進計画（仮称）策定委員会設置要綱

れいわがんねん がつ にちこくじだい ごう
（令和元年10月25日告示第58号）

しゅし
（趣旨）

だい じょう こくせき じんぞく こと ひとひと たが ぶんかてきちが みと あ
第1条 国籍や民族などの異なる人々が、お互いの文化的違いを認め合い、
ちいきしゃかい いちいん とも く じつげん む たぶんかきょうせいすいしん
地域社会の一員として共に暮らすまちづくりの実現に向け、多文化共生推進
にかか けいかく い か けいかく さくてい あ ひろ いけん もと
に係る計画（以下「計画」という。）を策定するに当たり広く意見を求める
ため、おおだしたぶんかきょうせいすいしんけいかく かしょう さくていいんかい い か いけんかい
ため、大田市多文化共生推進計画（仮称）策定委員会（以下「委員会」と
いう。）をせっち
設置する。

しよしょうじむ
（所掌事務）

だい じょう いけんかい つぎ じこう けんとう いけん の
第2条 委員会は、次の事項について検討し、意見を述べるものとする。

- (1) けいかく さくてい かん
計画の策定に関すること。
- (2) た ひつよう じこう かん
その他必要な事項に関すること。

そしき
（組織）

だい じょう いけんかい いいん にんいんない そしき
第3条 委員会は、委員8人以内で組織する。

2 委員は次に掲げる者のうちから、市長が委嘱又は任命する。

- (1) かんけいきかん だいひょう ものまた きかん すいせん う もの
関係機関を代表する者又はその機関の推薦を受けた者
- (2) ぎょうむ かつどうおよ せいかつじょう がいこくじん かか ふか もの
業務、活動及び生活上で外国人と関わりが深い者
- (3) ざいじゅうがいこくじん
在住外国人
- (4) た しちょう みと もの
その他市長が認める者

にんき
（任期）

だい じょう いいん にんき いしよくまた にんめい ひ だい じょう さだ いけんかい しよしょう
第4条 委員の任期は、委嘱又は任命の日から第2条に定める委員会の所掌
じむ しゅうりよう きかん
事務が終了するまでの期間とする。

いけんちようおよ ふくいけんちよう
（委員長及び副委員長）

だい じょう いけんかい いけんちようおよ ふくいけんちよう いいん ごせん
第5条 委員会に委員長及び副委員長をおき、委員の互選によりこれを
さだ
定める。

2 いけんちよう かいむ そうり
委員長は会務を総理する。

3 ふくいけんちよう いけんちよう ほさ いけんちよう じこ また いけんちよう か
副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けた
ときは、そのしよくむ だいり
職務を代理する。

かいぎ
(会議)

だい じょう いいんかい いいんちょう しょうしゅう ぎちょう さいしょ
第6条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。ただし、最初の
いいんかい しちょう しょうしゅう
委員会は市長が招集する。

いいんかい いいん はんすういじょう しゅつせき ひら
2 委員会は、委員の半数以上が出席しなければ、開くことができない。

いいんかい ひつよう おう いいん いがい もの かいぎ しゅつせき いけんまた
3 委員会は、必要に応じ、委員以外の者を会議に出席させ、その意見又は
せつめい き
説明を聴くことができる。

しょむ
(庶務)

だい じょう いいんかい しょむ そうむぶ そうむか しょり
第7条 委員会の庶務は、総務部総務課において処理する。

た
(その他)

だい じょう ようこう さだ ひつよう じこう べつ さだ
第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

ふ そく
附 則

こくじ れいわがんねん がつ にち しこう
この告示は、令和元年10月25日から施行する。

おおだしたぶんかきょうせいすいしんけいかく かしょう さくていいんかいいいんめいほ
 ○大田市多文化共生推進計画（仮称）策定委員会委員名簿

ぶんや 分野	なまえ（敬称略） けいしょうりやく	しよぞくとう 所属等	やくしよく 役職
ふくし 福祉	あおき しょうぞう 青木 正三	おおだし じんせいじどういんきょうぎかい かいちょう 大田市民生児童委員協議会 会長	いいんちょう 委員長
じんけん 人権	いしばし よしまさ 石橋 義正	かいかん かんちょう おおだふれあい会館 館長	ふくいんちょう 副委員長
さんぎょう 産業	ふじはら あけみ 藤原 明美	おおだしょうこうかいぎしよ そうむかちょう 大田商工会議所 総務課長	
がいこくじんじゅうみん かか 外国人住民と関 わりのある団体 だんたい	おおた あきお 太田 明夫	ざいじゅうがいかくじんきょうせいし みるん かい だいひょう 在住外国人共生市民の会 代表	
にほんごがくしゅう 日本語学習	ひらた せつこ 平田 節子	おおだにほんごさーくる だいひょう 大田日本語サークルこだま 代表	
がいこくじんじゅうみん 外国人住民	いわさき じゃねっと 岩崎 ジャネット	ふいりびん フィリピン	
がいこくじんじゅうみん 外国人住民	う しゃん 伍 香	ちゅうごく 中国	
がいこくじんじゅうみん 外国人住民	かない ひではる 金井 秀治	ぶらじる ブラジル	

けいかくさくてい けいか
○計画策定の経過

ねん 年	つき 月	じ こう 事 項
れいわが 令和元	5	しまねけんざいじゅうがいこくじんじゅうみん あ ん け ー と ちょうさじっし 島根県在住外国人住民アンケート調査実施
	8	おおだしざいじゅうがいこくじんじゅうみん あ ん け ー と ちょうさじっし 大田市在住外国人住民アンケート調査実施
	1 1	だい かいた ぶん かきょうせいすいしんけいかく かしょう さくていいいんかい 第1回多文化共生推進計画（仮称）策定委員会
	1 1	だい かいた ぶん かきょうせいすいしんけいかく かしょう さくてい かか ちょうないけんとうかいぎ 第1回多文化共生推進計画（仮称）策定に係る庁内検討会議
	1 1	だい かいた ぶん かきょうせいすいしんけいかく かしょう さくていいいんかい 第2回多文化共生推進計画（仮称）策定委員会
	1 2	だい かいた ぶん かきょうせいすいしんけいかく かしょう さくてい かか ちょうないけんとうかいぎ 第2回多文化共生推進計画（仮称）策定に係る庁内検討会議
れいわ 令和2	1	だい かいた ぶん かきょうせいすいしんけいかく かしょう さくていいいんかい 第3回多文化共生推進計画（仮称）策定委員会
	1	だい かいた ぶん かきょうせいすいしんけいかく かしょう さくてい かか ちょうないけんとうかいぎ 第3回多文化共生推進計画（仮称）策定に係る庁内検討会議
	2	ぱぶりっくこめんと じっし いけんぼしゅう パブリックコメントの実施（意見募集）

ようごかいせつ
○用語解説

ようご 用語	かいせつ 解説
SNS	Social Networking Service (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) の略。人と人とのつながりをインターネット上で提供するサービスのこと。
がいこくじんきゅうきゅう 外国人救急 はんそうしーと 搬送シート	ペン先で必要な質問や答にタッチすると、18ヶ国語の中から選んだ言語で翻訳され、音声で再生されるシート型のタブレット。救急時に必要な会話の例が表示してある。
きんきゅうつうわどうじさんしや 緊急通話同時三者 つうやくしすてむ 通訳システム	外国人からの119番通報時、外国人のいる救急現場での活動において迅速かつ的確に対応するため、電話通訳センターを介して24時間365日主要な言語で対応するもの。
こくさいきょういく 国際教育	国際社会において地球的視野に立って、主体的に行動するために必要と考えられる態度・能力の基礎を育成するための教育。 「国際理解教育」においては、「異文化と共生できる資質・能力」、「日本人として、個人としての自己の確立」、「コミュニケーション能力」の3つの資質・能力の育成が目的とされているが、「国際教育」においては、これらの目的に加え主体性や発信力といった行動化するための力の育成がより重視されている。
こくさいこうりゅういん 国際交流員	ちほうこうきょうだんたい 国際交流担当部局等で国際交流事業に従事する。 しょうわ ねん そうむしょう がいむしょう もんぶかがくしょう しょう きょうりよく 昭和62年から総務省、外務省、文部科学省の3省の協力のもとに行っている「語学指導等を行う海外青年招致事業（JETプログラム）」の参加者。JETプログラムの職種には、国際交流員（CIR）のほか外国語指導助手（ALT）、スポーツ交流員（SEA）がある。

よう 語	かい せつ 解 説
ざいりゅうしかく 在 留 資 格	にほんこくせき も がいこくじん にほん にゆうこく ざいりゅう おこな 日本国籍を持たない外国人が日本に入国・在留して行うこと かつどう るいけいか しょうさい しゅつにゆうこくかんりおよ ができる活動などを類型化したもの。詳細は「出入国管理及び なんみんにんていほう にゆうかんほう きてい 難民認定法」（「入管法」ともいう）などにより規定されている。
たげんごか 多言語化	げんご あらわ えら りよう さまざまな言語で表し、選んで利用できるようにすること。
やさしいにほんご やさしい日本語	さいがいじ がいこくじん じょうほう つた もくてき かいはつ 災害時に外国人にどうやって情報を伝えるかという目的で開発 された、わかりにくい日本語をわかりやすい表現に変えたもの。 ふつう にほんご かんたん がいこくじん はいりよ 普通の日本語より簡単で、外国人にわかりやすいように配慮した にほんご 日本語。